

**国立市公共施設等総合管理計画策定
に向けた市民アンケート調査**

報告書

2016年8月

目次

1. 調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査対象	1
(3) 標本の抽出方法	1
(4) 調査方法	1
(5) 調査期間	1
(6) 回収状況	1
(7) 調査項目	1
(8) 調査結果をみる上での注意事項	1
2. 調査結果	2
I. 国立市の公共施設の現状	2
(1) 利用状況	2
(2) 公共施設の機能・サービス面の満足度	3
(3) 公共施設の利用度及び満足度	4
II. 国立市の公共施設に関する取組みについて	7
(1) 公共施設の老朽化に対する認識	7
(2) 公共施設の更新問題への関心	9
(3) 公共施設に関する取り組みの認知状況	11
(4) 公共施設三原則について	12
III. 国立市の公共施設の今後の在り方について	14
(1) 公共施設の総量縮減について	14
(2) 公共施設維持のための行政サービス削減について	16
(3) 施設の複合化について	18
(4) 身近な施設の複合化について	20
(5) 学校施設の統廃合の検討について	22
(6) 学校を中心とした施設の複合化について	24
(7) 民間のノウハウや資金の活用について	26
(8) 施設の地域への譲渡について	28
(9) インフラの「長寿命化」の推進について	30
(10) 公共施設を減らしていく場合の検討対象について	32
(11) 施設の利用料金の値上げについて	35
(12) 公共施設維持のための税負担の増加について	37
(13) 公共施設に対する情報提供について	39
(14) ワークショップ等への参加意向について	41
3. 自由回答(主な意見を一部抜粋)	43
4. まとめ	46
(1) 施設への利用度・満足度について	46
(2) 本市の公共施設に関する取り組みについて	46
(3) 本市の公共施設の今後のあり方について	46
5. 回答者の属性	48
6. 調査票	52

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

「国立市公共施設等総合管理計画」の策定に向けて、公共施設の利用状況や運営上の課題、施設サービスに対する評価等について適切に把握し、将来にわたって持続可能な公共施設等の管理・活用のあり方について検討する上での参考資料とすることを目的として、「国立市公共施設等総合管理計画に関する市民アンケート調査」を実施した。

(2) 調査対象

国立市在住の満 18 歳以上の男女 3,000 人

(3) 標本の抽出方法

住民基本台帳から無作為抽出

(4) 調査方法

郵送によるアンケート調査

(5) 調査期間

平成 28 年 6 月 8 日（水）～7 月 8 日（金）

(6) 回収状況

有効回答数：1,277 件 回収率：42.6%

(7) 調査項目

- ・ 国立市の公共施設の現状（利用度・満足度）
- ・ 国立市の公共施設に関する取り組みについて
- ・ 国立市の公共施設の今後のあり方について

(8) 調査結果をみる上での注意事項

- ・ 本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数を表す。
- ・ 百分率（%）の計算は、小数第 2 位を四捨五入し小数第 1 位まで表示した。したがって、四捨五入の都合により、各項目の合計が 100%にならない場合がある。
- ・ 設問ごとに無回答の場合には回答者数（「n」）から除いて集計している。
- ・ 本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・ 回答者が 30 未満の場合には、比率が上下しやすいため、傾向を見るに留め、本文中では触れていない場合がある。
- ・ クロス集計では、全体と比較して+5%以上の場合にその傾向を記述している。なお、「n=29 以下」の場合は分析の対象とせず、参考値としている。

2. 調査結果

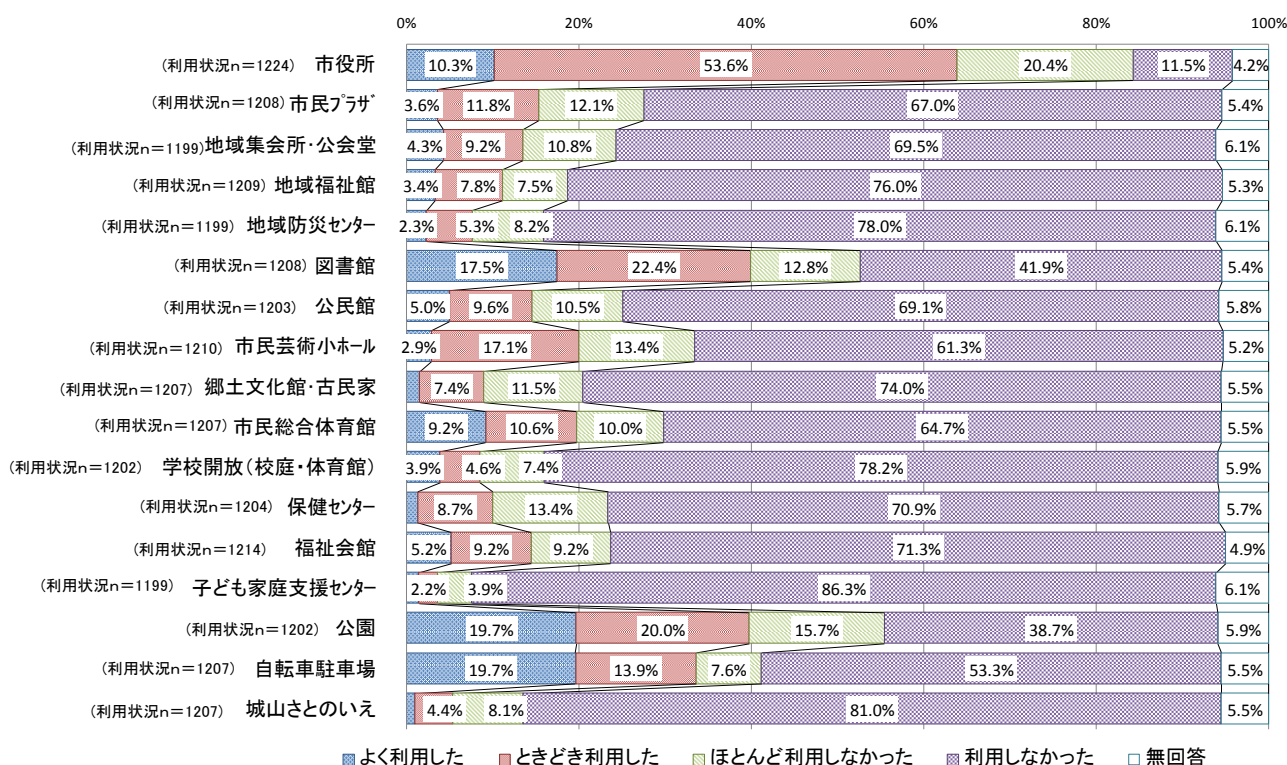
1. 国立市の公共施設の現状

(1) 利用状況

【問 1-1】 あなたは、過去 1 年間で、市の公共施設をどれくらい利用しましたか。(○は施設ごとに1つ)

- ・ 「よく利用した」と回答する割合が最も高いのは、「公園 (19.7%)」「自転車駐車場 (19.7%)」であり、次いで「図書館 (17.5%)」である。なお、「よく利用した」「ときどき利用した」と回答する割合を合わせると、「市役所」が 63.9%で最も高くなっている。
- ・ 一方で、「利用しなかった」「ほとんど利用しなかった」を合わせた割合が高いのは、「子ども家庭支援センター (90.2%)」「城山さとのいえ (89.1%)」「地域防災センター (86.2%)」などである。

図表 1 公共施設の利用状況

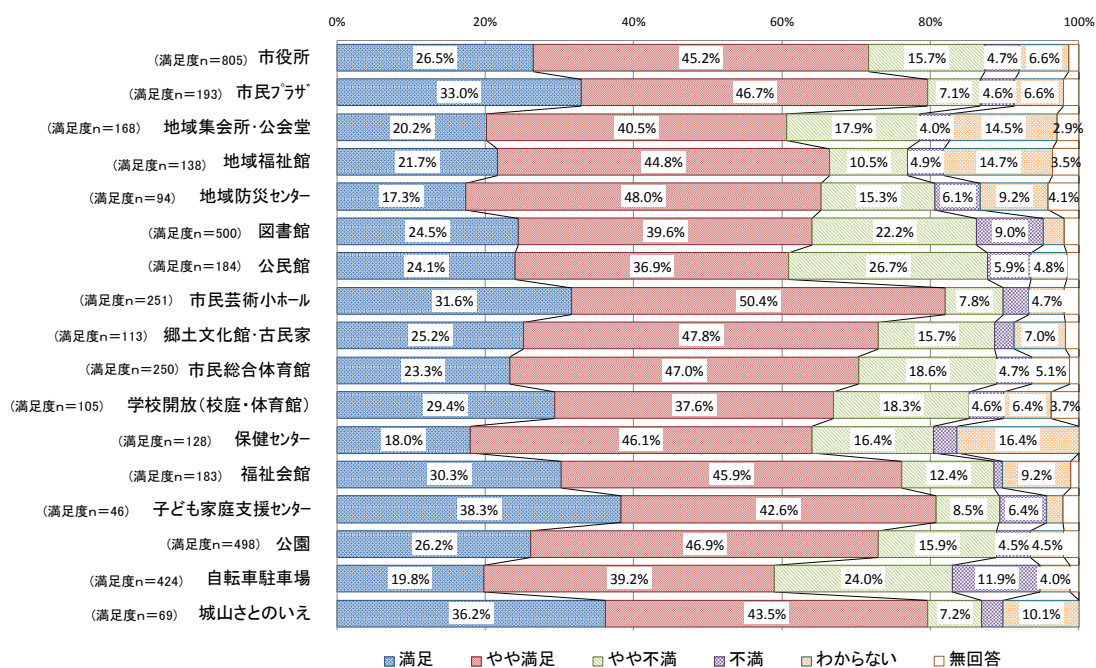


(2) 公共施設の機能・サービス面の満足度

【問 1-2】 あなたは市の公共施設について、建物の使い勝手にどれくらい満足していますか。(〇は施設ごとに1つ)

- ・ 施設の利用層(「よく利用した」または「ときどき利用した」と回答した人)を対象とした場合、「満足」「やや満足」を合わせた割合が最も高いのは、「市民芸術小ホール(82.0%)」であり、次いで「子ども家庭支援センター(80.9%)」「市民プラザ(79.7%)」「城山さとのいえ(79.7%)」である。
- ・ 一方で、「不満」「やや不満」を合わせた割合が高いのは、「自転車駐車場(35.9%)」であり、次いで「公民館(32.6%)」「図書館(31.2%)」などである。

図表 2 公共施設の機能・サービス面の満足度(対象:当該施設の利用層)



(3) 公共施設の利用率及び満足度

① 利用率・満足度調査の分析方法

- 対象施設の利用率および満足度（対象：利用層）に関する設問の各選択肢を点数化して、各施設の利用率と満足度の評価点を算出する。

図表 3 点数表

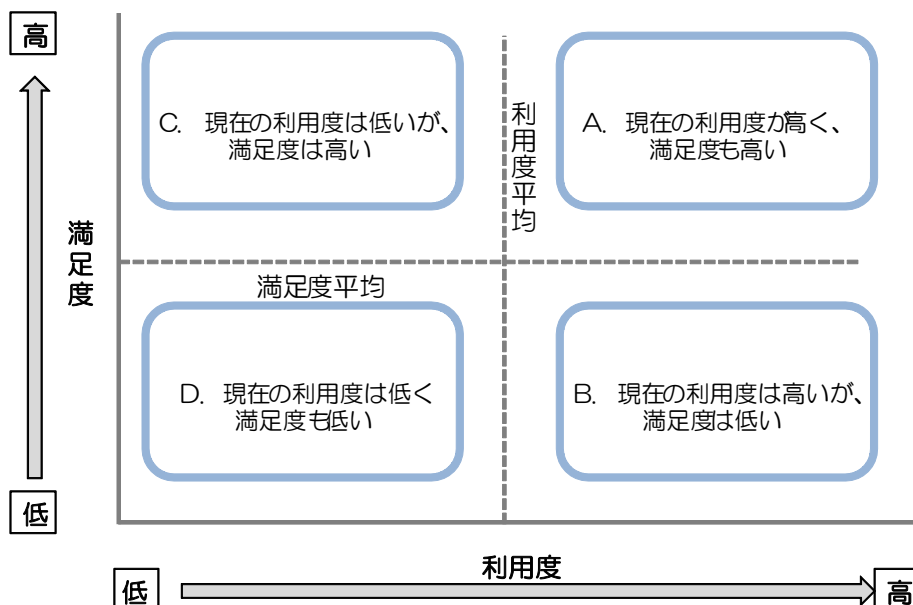
利用率		満足度（対象：利用層）	
選択肢	点数	選択肢	点数
よく利用した	+3点	満足	+2点
ときどき利用した	+2点	やや満足	+1点
ほとんど利用しなかつた	+1点	やや不満	-1点
利用しなかつた	0点	不満	-2点
		わからない	0点

図表 4 計算式

$$\text{利用率} = \frac{\text{「良く利用した」} \times 3 \text{点} + \text{「ときどき利用した」} \times 2 \text{点} + \text{「ほとんど利用しなかつた」} \times 1 \text{点} + \text{「利用しなかつた」} \times 0 \text{点}}{\text{有効回答者数（有効回答数から「無回答」を除く）}}$$

$$\text{満足度} = \frac{\text{「満足」} \times 2 \text{点} + \text{「やや満足」} \times 1 \text{点} + \text{「やや不満」} \times -1 \text{点} + \text{「不満」} \times -2 \text{点}}{\text{有効回答者数（有効回答数から「無回答」を除く）}}$$

- そして、各施設に対するスコアを相対的に評価するために、横軸に利用率、縦軸に満足度を取り、各平均値を交点として4つの領域に分類し、傾向を示している。



② 結果の概要

■ 利用度が高く、満足度も高い【A:右上】

- ・ 比較的多くの市民が利用しており、利用者の満足度も高い施設は以下の通りである。
「市役所」
「公園」
「市民芸術小ホール」

■ 利用度は高いが、満足度は低い【B:右下】

- ・ 比較的多くの市民が利用しているが、利用者の満足度が低い施設は以下の通りである。
「図書館」
「自転車駐車場」
「市民総合体育館」

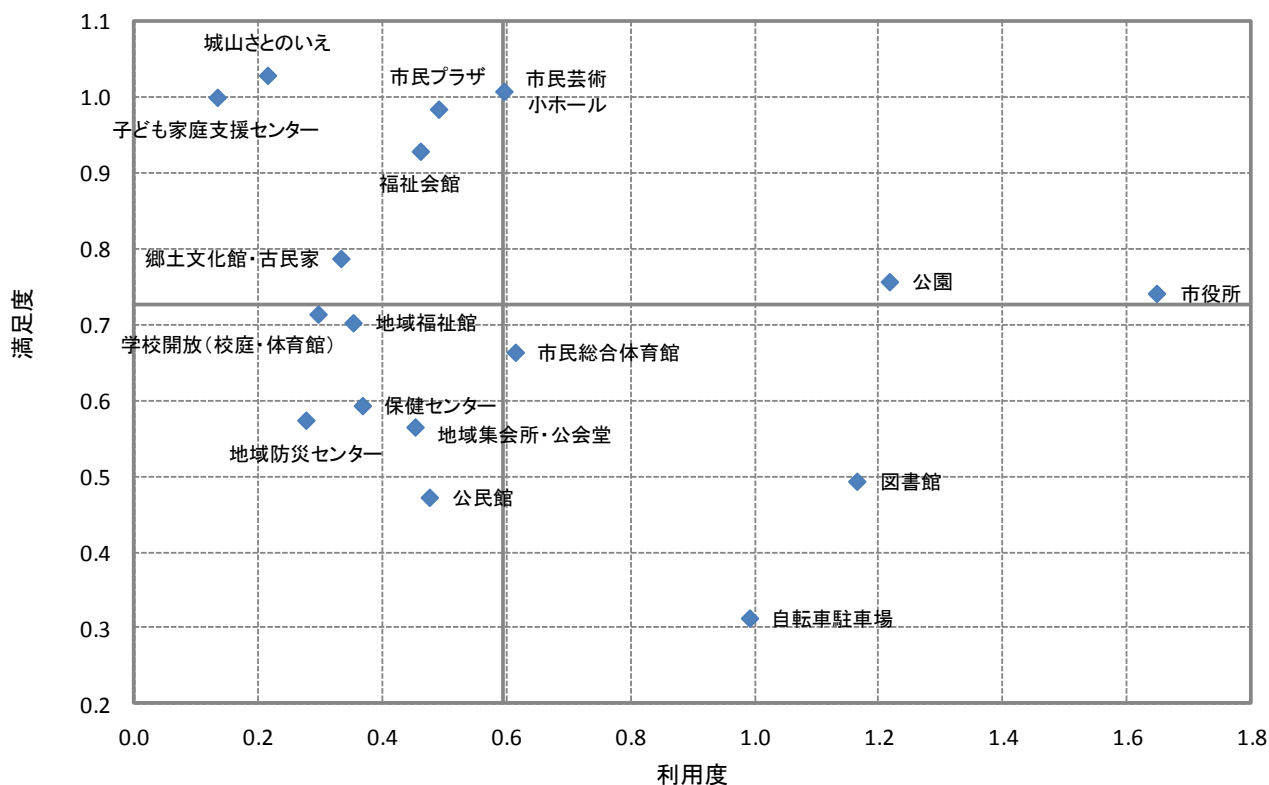
■ 利用度は低いが、満足度は高い【C:左上】

- ・ 利用している市民は比較的少ないが、利用者の満足度は高い施設は以下の通りである。
「市民プラザ」
「福祉会館」
「郷土文化館・古民家」
「城山さとのいえ」
「子ども家庭支援センター」

■ 利用度が低く、満足度も低い【D:左下】

- ・ 利用している市民は比較的少なく、利用者の満足度も低い施設は以下の通りである。
「公民館」
「地域集会所・公会堂」
「保健センター」
「地域福祉館」
「学校開放（校庭・体育館）」
「地域防災センター」

図表 5 利用度×満足度（利用層）（グラフ）



図表 6 利用度×満足度（利用層）（表）

施設	利用度	満足度
1市役所	1.65	0.74
2市民プラザ	0.49	0.98
3地域集会所・公会堂	0.45	0.57
4地域福祉館	0.35	0.70
5地域防災センター	0.28	0.57
6図書館	1.16	0.49
7公民館	0.48	0.47
8市民芸術小ホール	0.60	1.01
9郷土文化館・古民家	0.33	0.79
10市民総合体育館	0.62	0.66
11学校開放(校庭・体育館)	0.30	0.71
12保健センター	0.37	0.59
13福祉会館	0.46	0.93
14子ども家庭支援センター	0.14	1.00
15公園	1.22	0.76
16自転車駐車場	1.00	0.31
17城山さとのいえ	0.21	1.03
平均	0.59	0.73

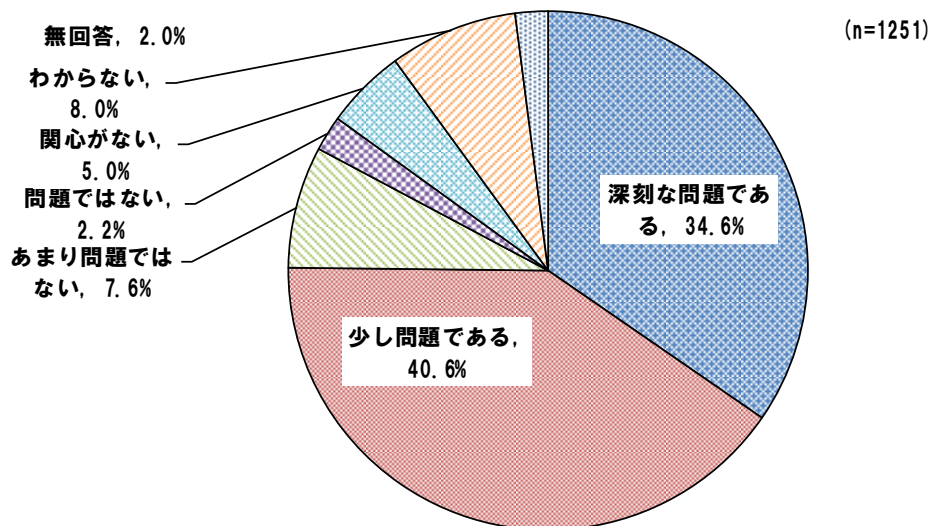
II. 国立市の公共施設に関する取組みについて

(1) 公共施設の老朽化に対する認識

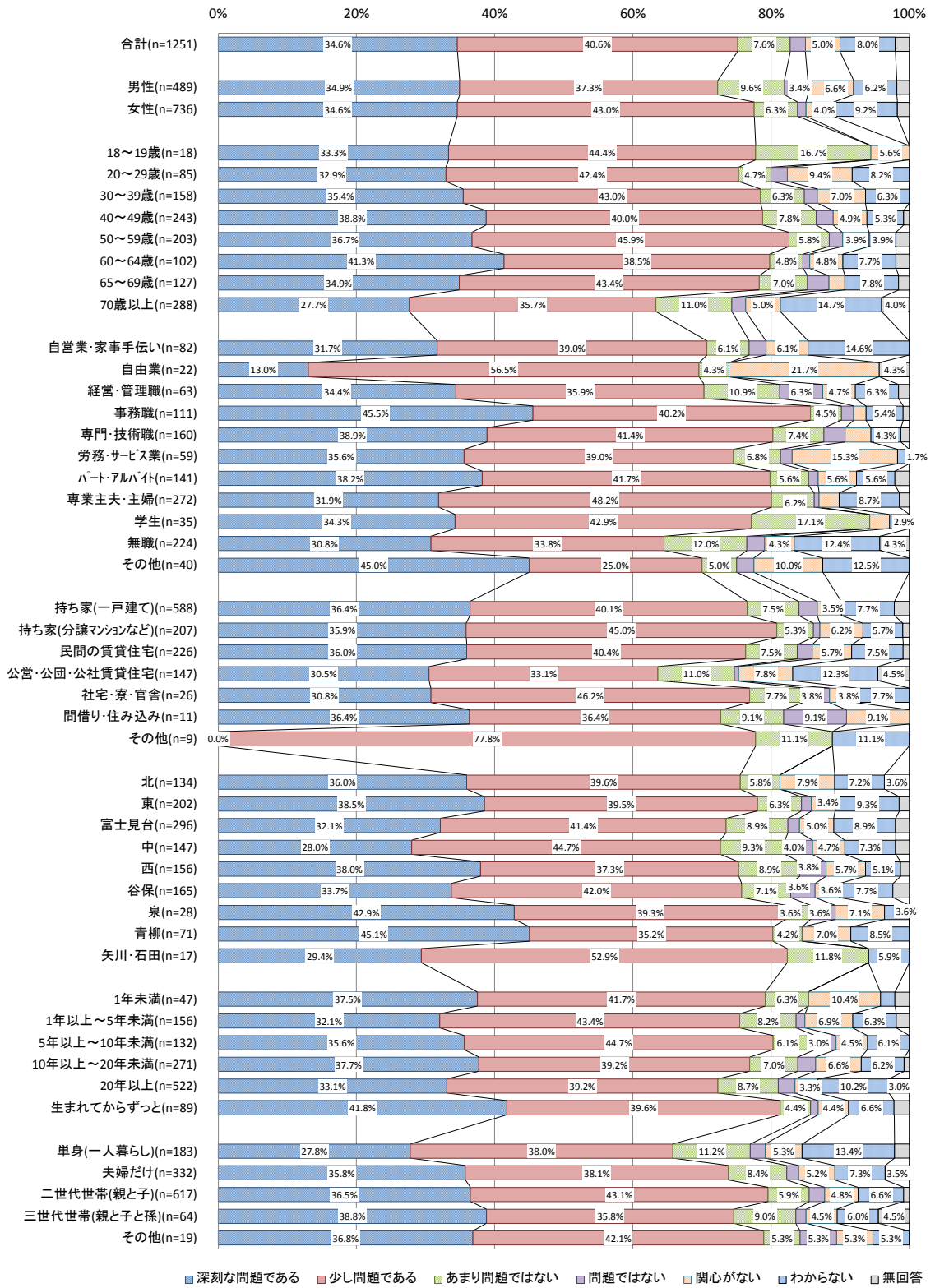
【問 2-1】 市の公共施設の多くは老朽化が進行しています。この現状について、どのような印象をお持ちですか。(○は1つ)

- ・ 「公共施設の老朽化」について、「深刻な問題である (34.6%)」と「少し問題である (40.6%)」を合わせると、7割を超える市民が問題であると回答している。
- ・ ただし、「わからない (8.0%)」と「関心がない (5.0%)」を合わせると1割強となり、一層の情報共有の必要性もうかがえる。
- ・ 年齢別にみると、「深刻な問題である」と「少し問題である」を合わせると、「50～59歳」で82.6%であり、全体よりもさらに高い割合となっている。

図表 7 公共施設の老朽化に対する認識



図表 8 公共施設の老朽化に対する認識(クロス集計)

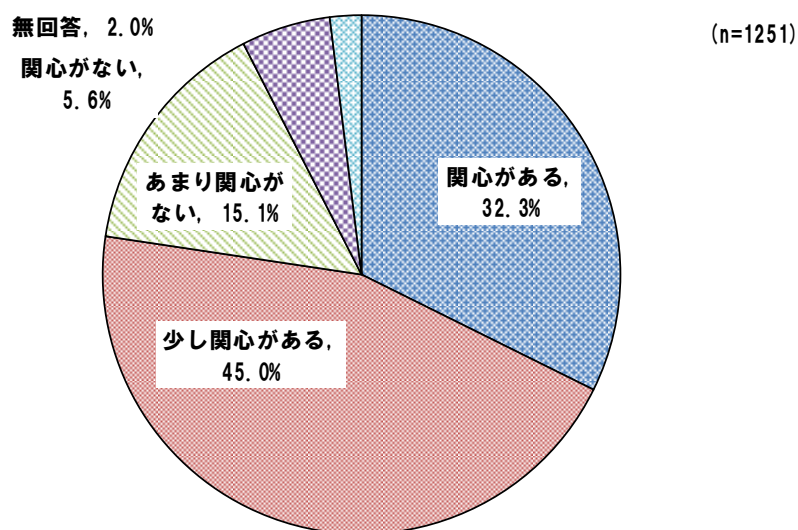


(2) 公共施設の更新問題への関心

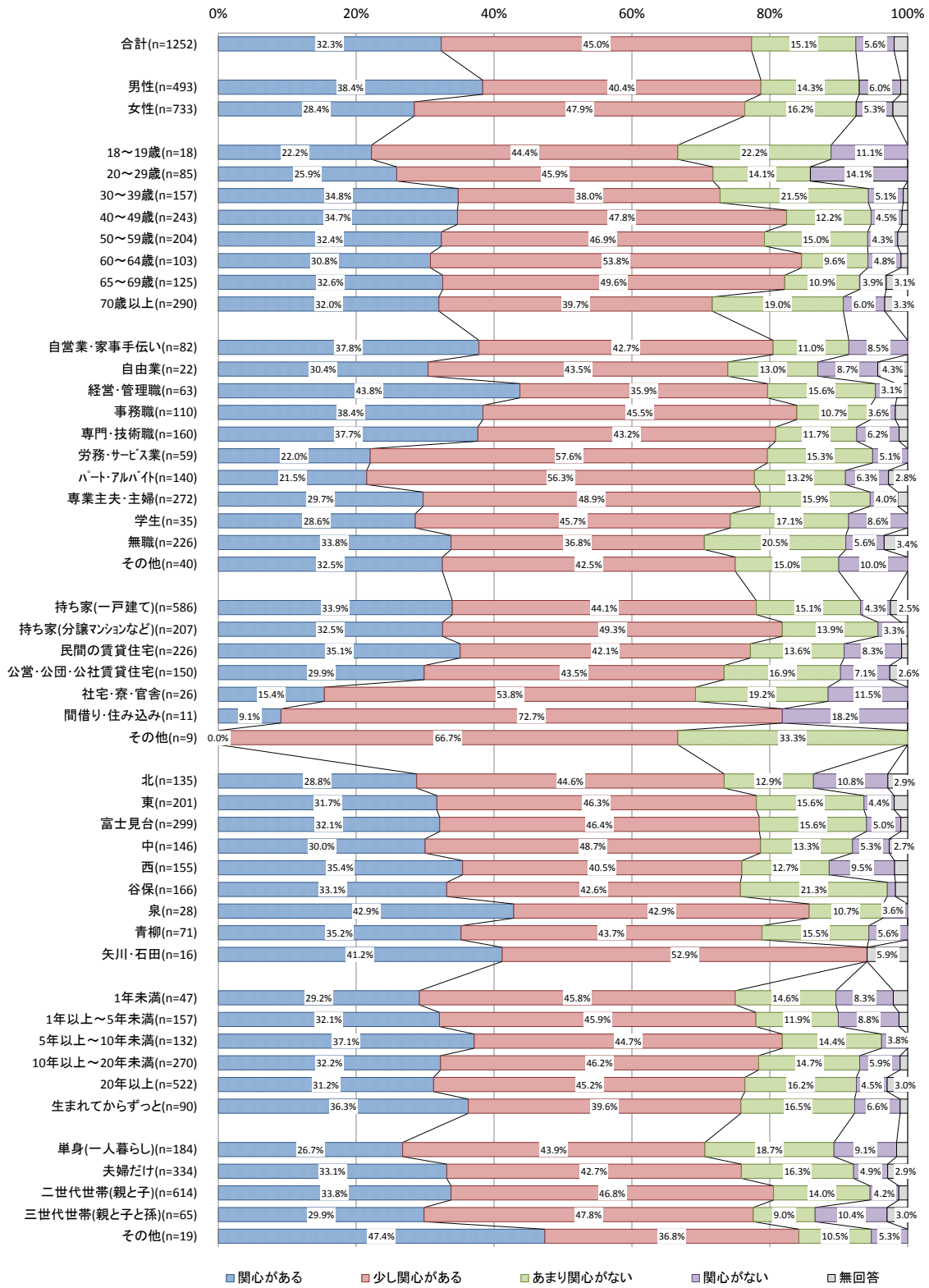
【問 2-2】 過去に建設した公共施設が、今後一斉に更新（建て替え）の時期を迎えます。公共施設の更新には膨大な費用が見込まれており、全ての公共施設を更新することは難しい状況です。あなたは公共施設の更新問題について関心がありますか。（○は1つ）

- ・ 「公共施設の更新問題」について、「関心がある（32.3%）」と「少し関心がある（45.0%）」を合わせる、8割弱の市民が関心があると回答している。
- ・ 年齢別にみると、「関心がある」と「少し関心がある」を合わせると、「60～64歳」で8割強と最も高く、次いで「40～49歳」「65～69歳」が高くなっており、中高齢層における関心が比較的高い。一方、「関心がない」と「あまり関心がない」を合わせると、「20～29歳」で約3割と最も高く、次いで「30～39歳」が高くなっており、若い世代における関心が比較的低い状況となっている。

図表 9 公共施設の更新問題への関心



図表 10 公共施設の更新問題への関心(クロス集計)



(3) 公共施設に関する取り組みの認知状況

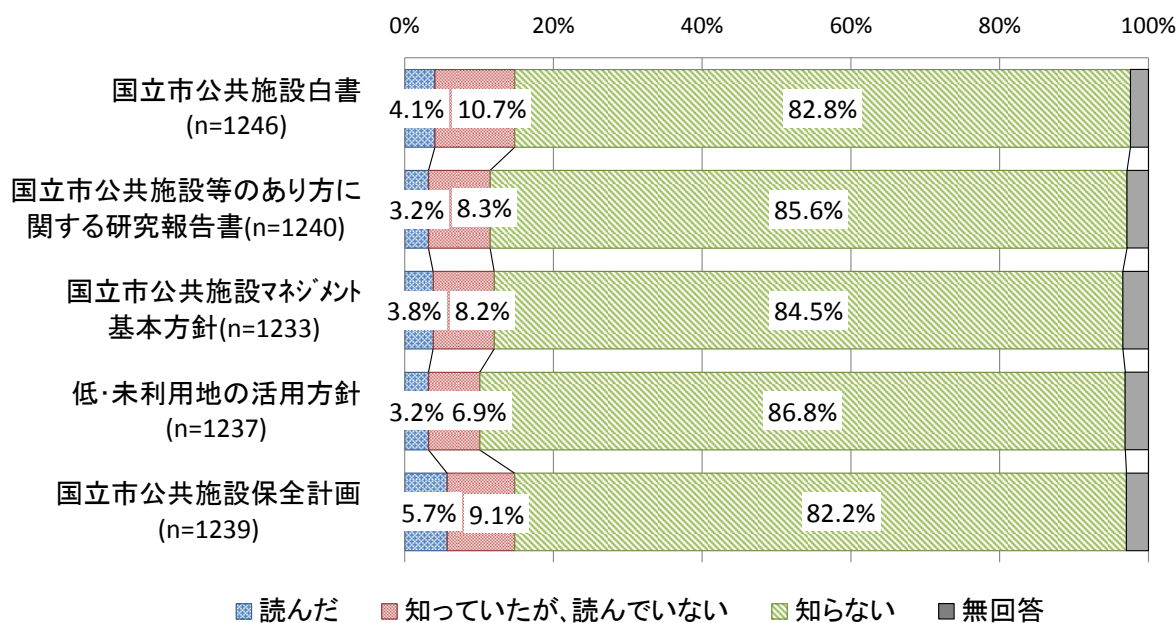
【問 2-3】 次の公共施設の更新問題に対する国立市の取り組みについてご存じですか。

(○はそれぞれ1つ)

- ・「国立市公共施設白書（平成24年2月発行）」
- ・「国立市公共施設等のあり方に関する研究報告書（平成24年10月）」
- ・「国立市公共施設マネジメント基本方針（平成25年3月）」
- ・「低・未利用地の活用方針（平成25年11月）」
- ・「国立市公共施設保全計画（平成27年5月）」

- ・ 「公共施設に関する市の取り組み」について、いずれの取り組みも「知らない」と回答する割合が8割を超えており、多くの市民が公共施設の問題に関心がある一方で、それに対する市の取り組みについてはほとんど認知されていない状況である。
- ・ ただし、「読んだ」という回答が4～5%に上り、「知っていたが、読んでいない」を合わせると1割を超えており、専門的な行政の計画・方針等に関する市民の認知度としては、比較的高いとみることもできる。

図表 11 公共施設に関する取り組みの認知状況

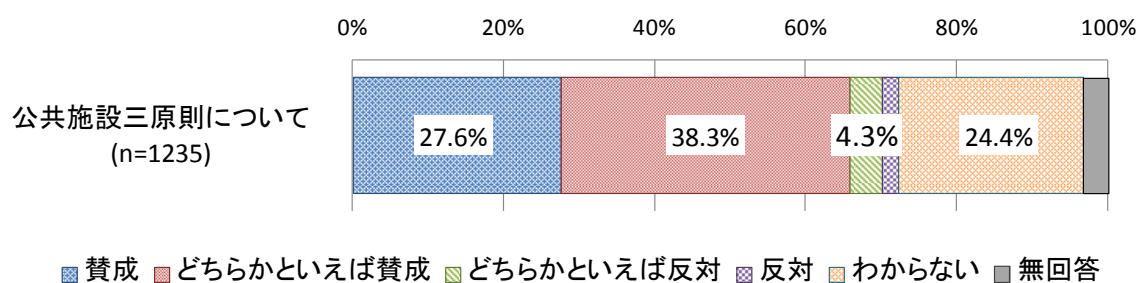


(4) 公共施設三原則について

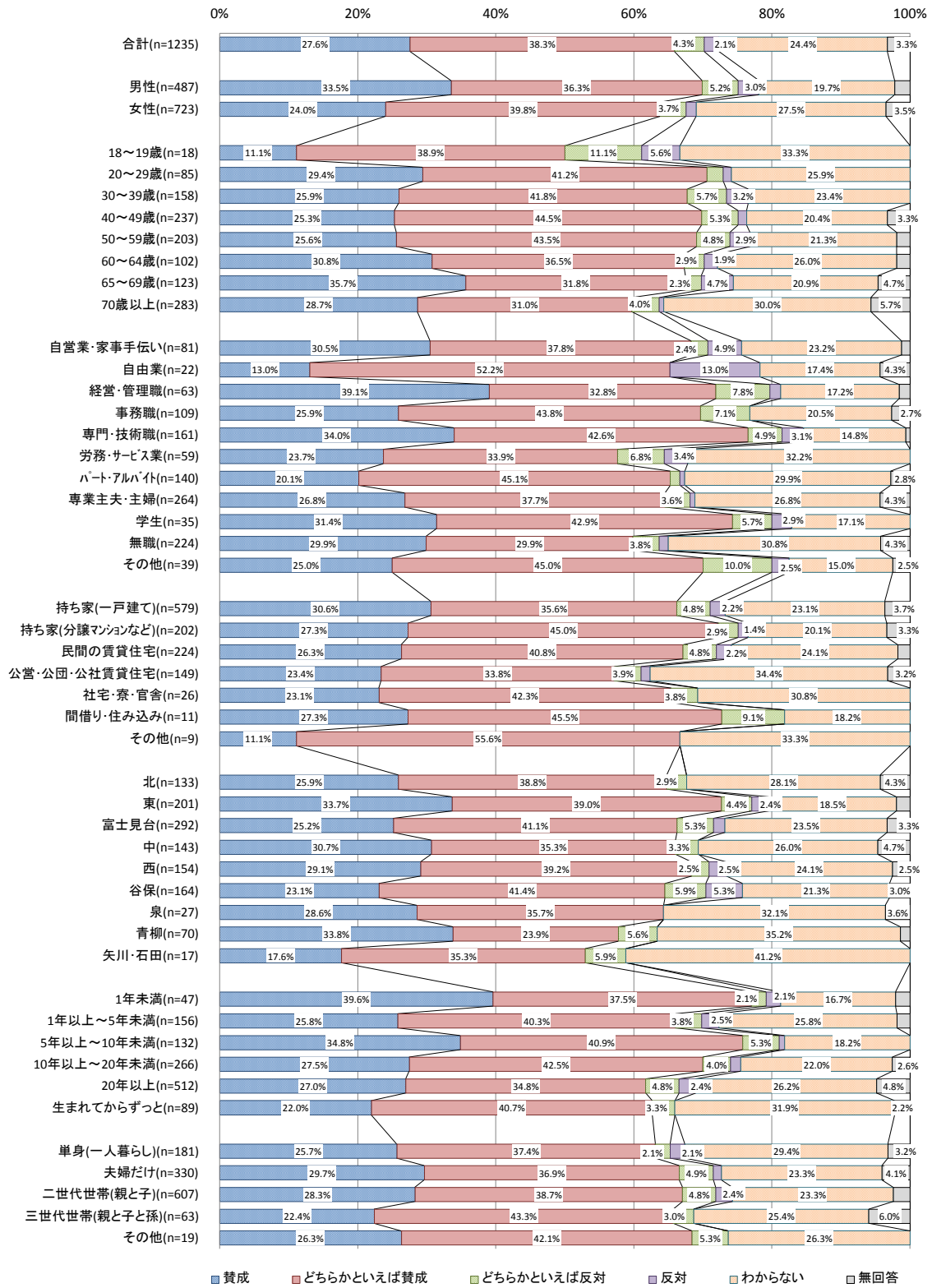
【問 2-4】 公共施設三原則について、どう思いますか。(○は1つ)

- ・ 「公共施設三原則」について、「賛成 (27.6%)」と「どちらかといえば賛成 (38.3%)」を合わせると、7割近くの市民が賛成の意向を示している。
- ・ ただし、約 25%の市民が「わからない」と回答しており、より一層の情報共有が必要といえる。

図表 12 公共施設三原則について



図表 13 公共施設三原則について(クロス集計)



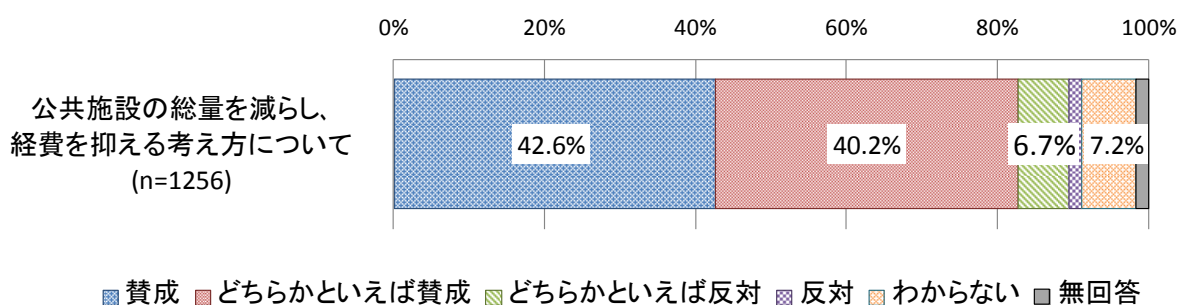
III. 国立市の公共施設の今後の在り方について

(1) 公共施設の総量縮減について

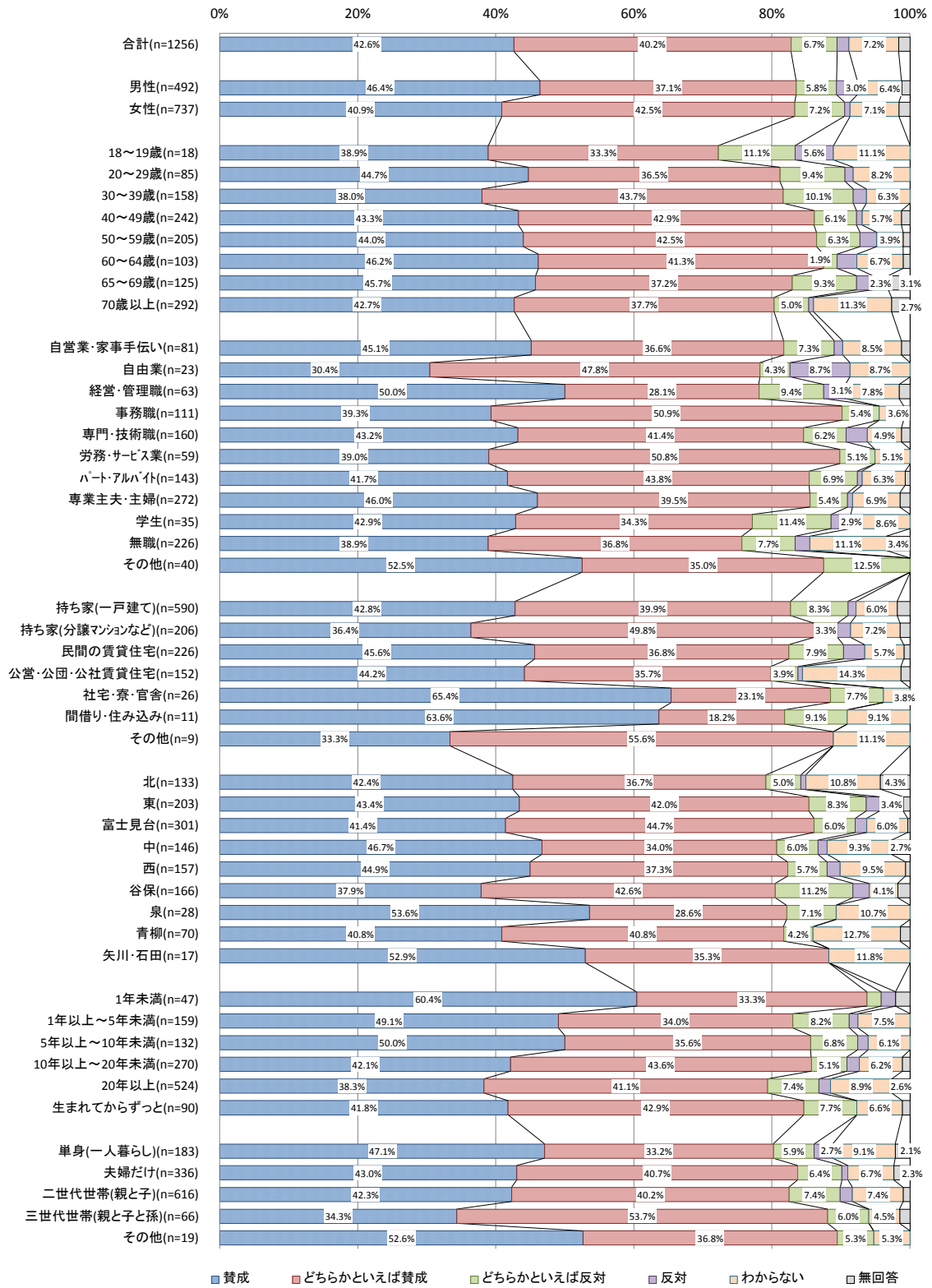
【問 3-1】 今後の人口減少を踏まえ、全ての公共施設を残すのではなく、公共施設の総量を一定程度減らし、経費を抑えていく考え方について、どう思いますか。(○は1つ)

- ・ 「公共施設の総量を減らし、経費を抑えていく考え方」について、「賛成 (42.6%)」と「どちらかといえば賛成 (40.2%)」と合わせると、約8割の市民が賛成の意向を示している。

図表 14 公共施設の総量縮減について



図表 15 公共施設の総量縮減について (クロス集計)

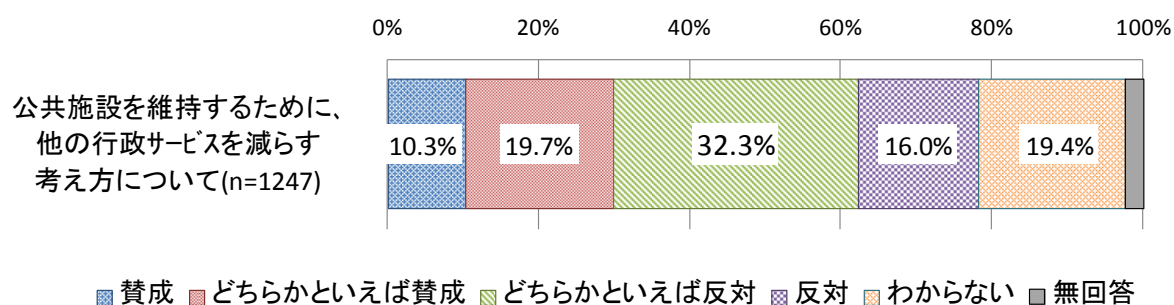


(2) 公共施設維持のための行政サービス削減について

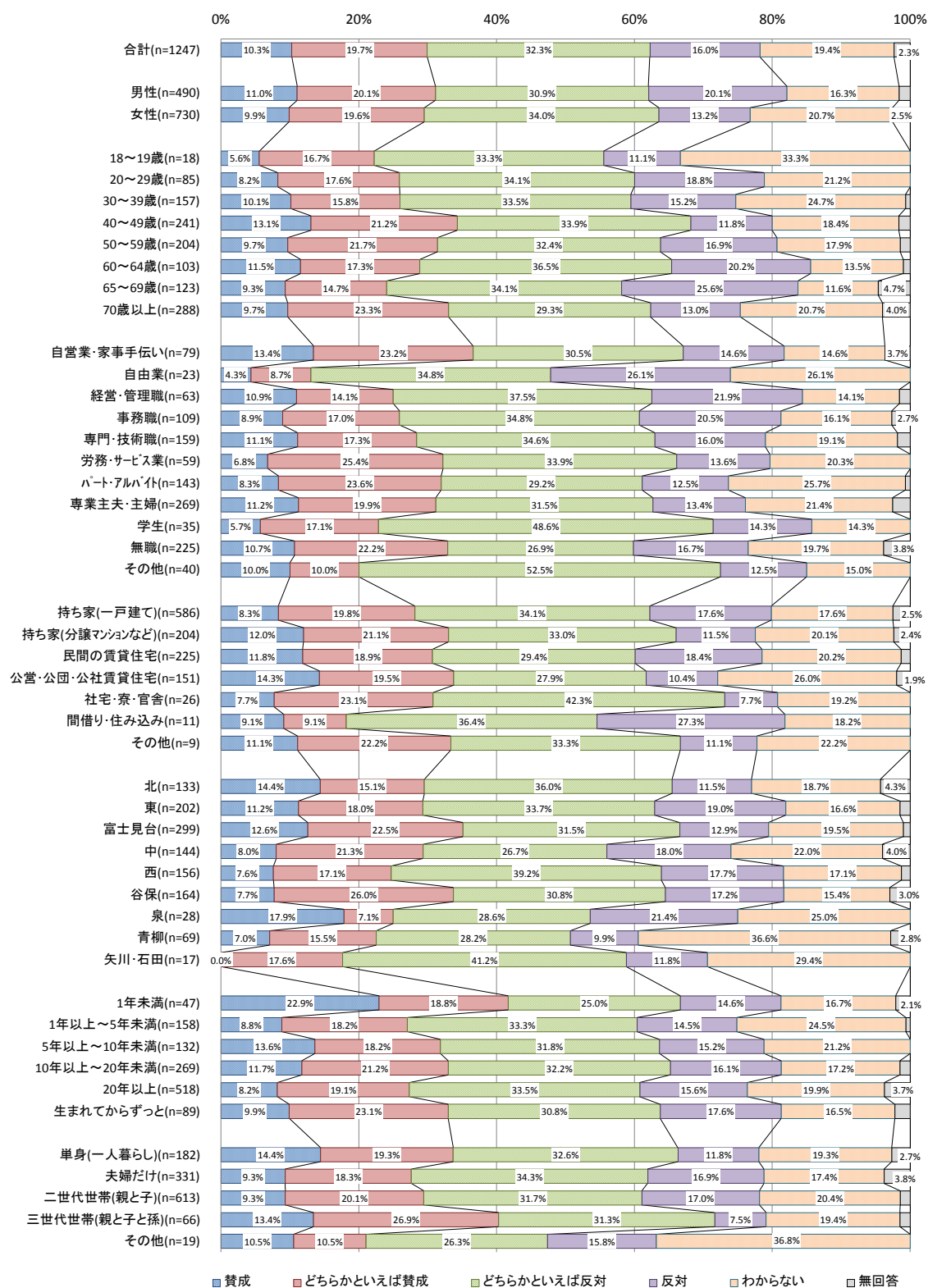
【問 3-2】 今後の人口減少を踏まえ、今ある公共施設をそのまま維持していくために、他の行政サービスを減らすという考え方について、どう思いますか。(○は1つ)

- ・ 「公共施設を維持するために、他の行政サービスを減らす考え方」について、「賛成 (10.3%)」と「どちらかといえば賛成 (19.7%)」を合わせると、約3割の市民が賛成の意向を示している。
- ・ 一方、「反対 (16.0%)」と「どちらかといえば反対 (32.2%)」を合わせると、約5割の市民が反対の意向であり、反対の割合の方が高い。
- ・ また、「わからない (19.4%)」の割合も約2割とやや高い。
- ・ 年齢別にみると、「反対」と「どちらかといえば反対」を合わせると、「65～69 歳」で 59.7%と最も高く、次いで「60～64 歳」が高くなっている。

図表 16 公共施設を維持するために、他の行政サービスを減らす考え方について



図表 17 公共施設を維持するために、他の行政サービスを減らす考え方について（クロス集計）

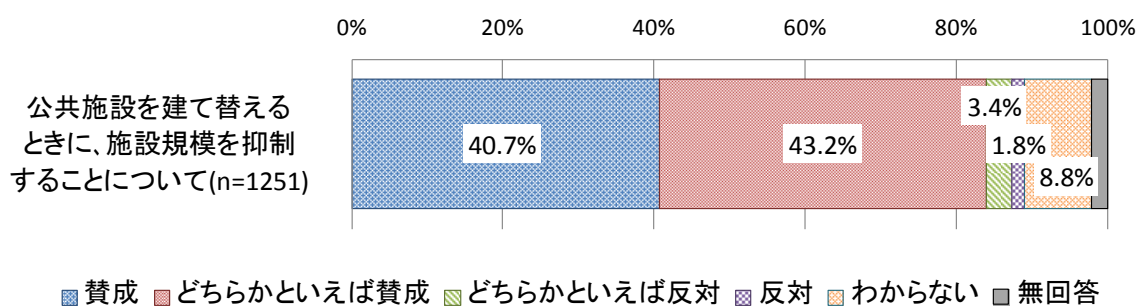


(3) 施設の複合化について

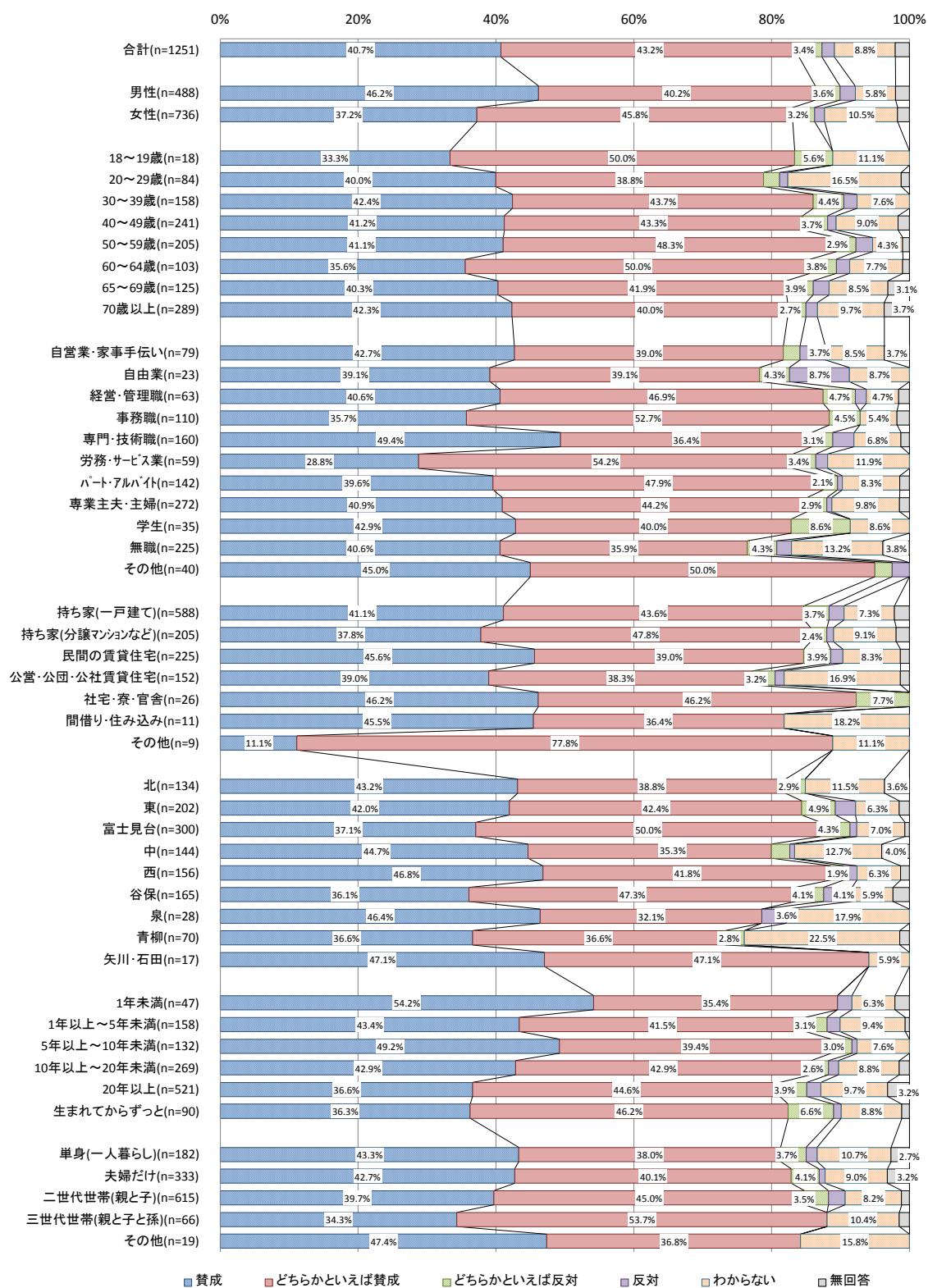
【問 3-3】 公共施設を建て替えるときに、単独で建て替えるのではなく、周辺の公共施設をまとめて複合施設として建て替えることで施設規模を抑制することについて、どう思いますか。(〇は1つ)

- ・ 「公共施設を建て替えるときに、施設の複合化により施設規模を抑制すること」について、「賛成 (40.7%)」と「どちらかといえば賛成 (43.2%)」を合わせると、8割以上の市民が賛成の意向を示している。
- ・ 年齢別にみると、「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合わせると、「50～59歳」で89.4%であり、全体と比較して高くなっている。

図表 18 建て替え時に、施設の複合化により施設規模を抑制することについて



図表 19 建替え時に、施設の複合化により施設規模を抑制することについて(クロス集計)

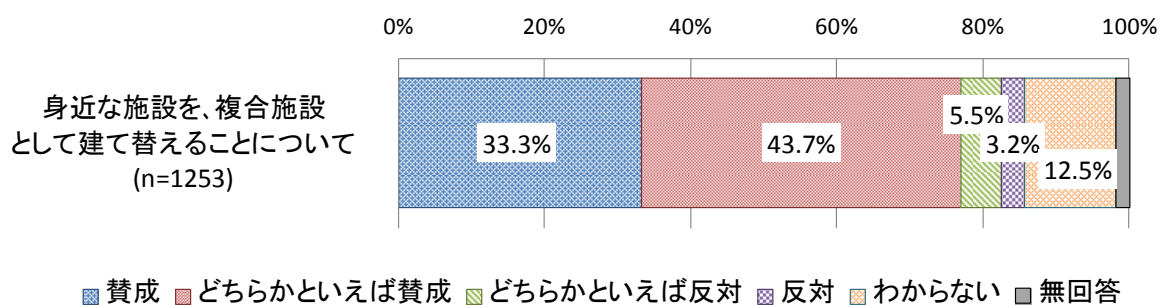


(4) 身近な施設の複合化について

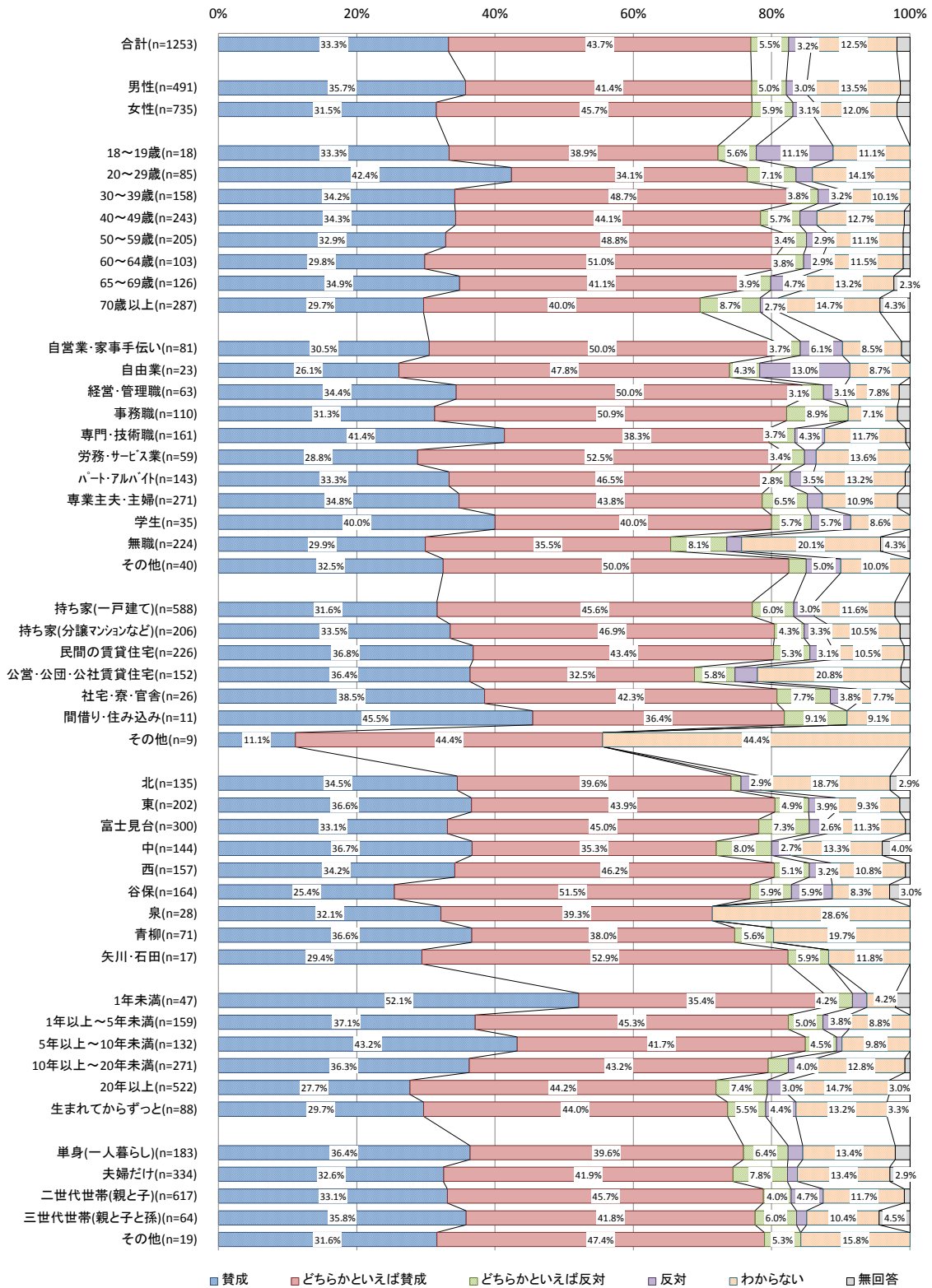
【問 3-4】 あなたが普段利用している施設や、あなたにとって身近な施設を、他の施設とまとめて複合施設として建て替えることについて、どう思いますか。(〇は1つ)

- ・ 「身近な施設を、複合施設として建て替えること」について、「賛成 (33.3%)」と「どちらかといえば賛成 (43.7%)」を合わせると、8割弱の市民が賛成の意向を示している。
- ・ 「(3) 施設の複合化について」と比較すると、身近な施設の複合化の方が、賛成がやや低く、反対がやや高くなっているが、大きな違いは見られない。
- ・ 年齢別にみると、「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合わせると、「30～39歳」で82.9%であり、全体と比較して高くなっている。

図表 20 身近な施設を、複合施設として建て替えることについて



図表 21 身近な施設を、複合施設として建て替えることについて(クロス集計)

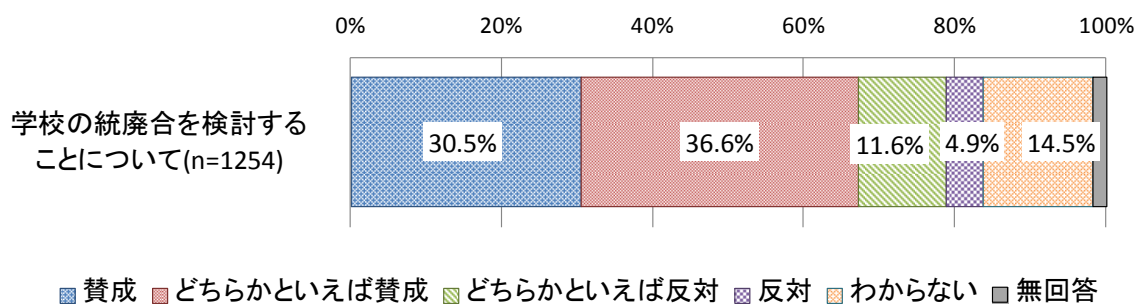


(5) 学校施設の統廃合の検討について

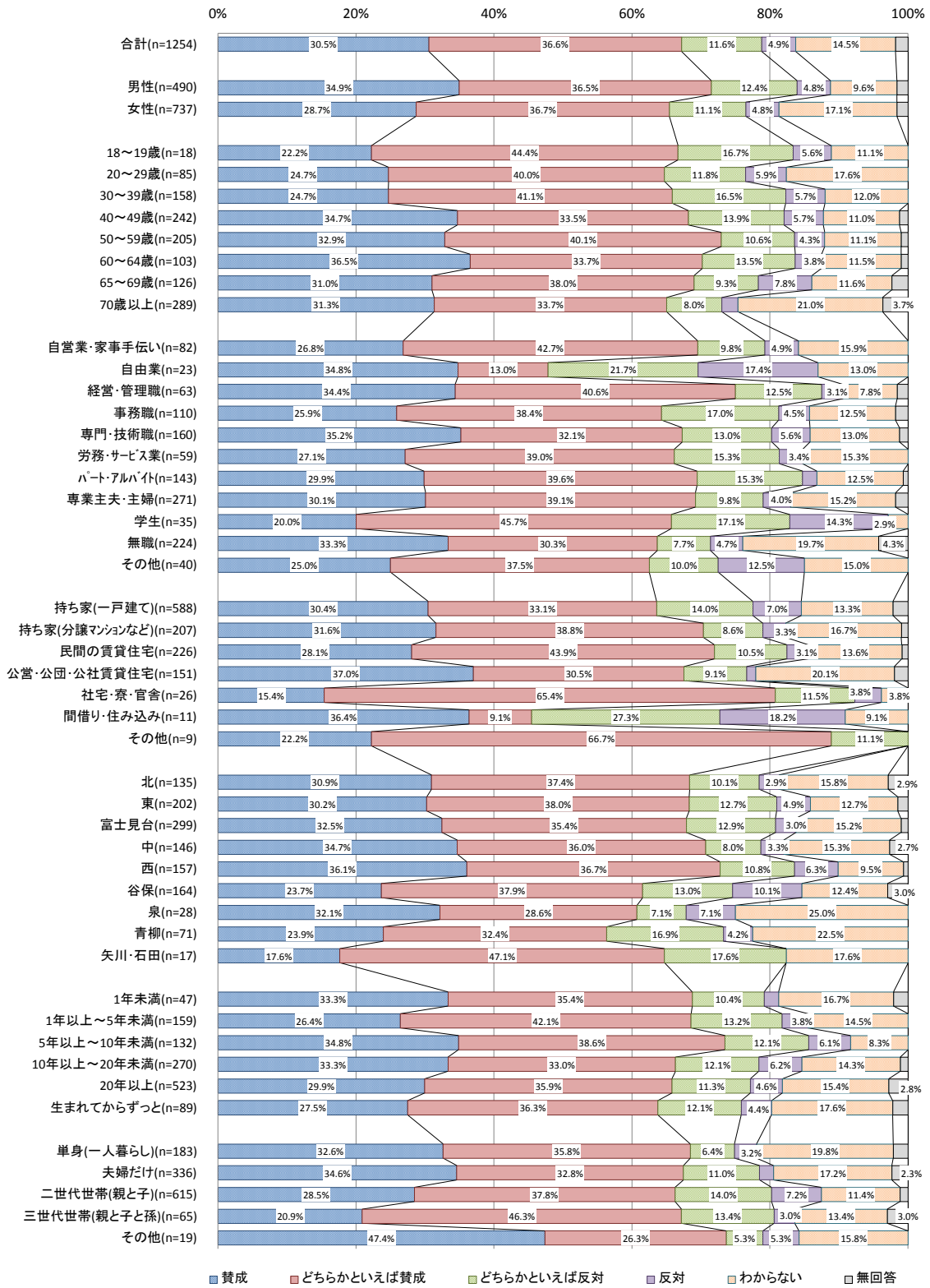
【問 3-5】 今後の少子化の進行に伴い、1学級だけの学年が増えたり、1校あたり的人数規模が小さくなるなど教育環境が大きく変化することが想定されます。そうした状況への対応として、学校の統廃合を検討することについて、どう思いますか。(〇は1つ)

- ・ 「学校施設の統廃合の検討」について、「賛成 (30.5%)」と「どちらかといえば賛成 (36.6%)」を合わせると、7割弱の市民が賛成の意向を示している。
- ・ 一方、「反対 (4.9%)」と「どちらかといえば反対 (11.6%)」を合わせると、2割弱の市民が反対の意向を示しており、反対の割合も比較的高い。
- ・ 年齢別にみると、「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合わせると、「50～59歳」で73.0%であり、全体と比較して高くなっている。一方、「反対」と「どちらかといえば反対」を合わせると、「30～39歳」が22.2%で全体と比較して最も高くなっており、子育て世代において反対の意向がやや高い状況がうかがえる。

図表 22 学校の統廃合の検討について



図表 23 学校の統廃合の検討について(クロス集計)

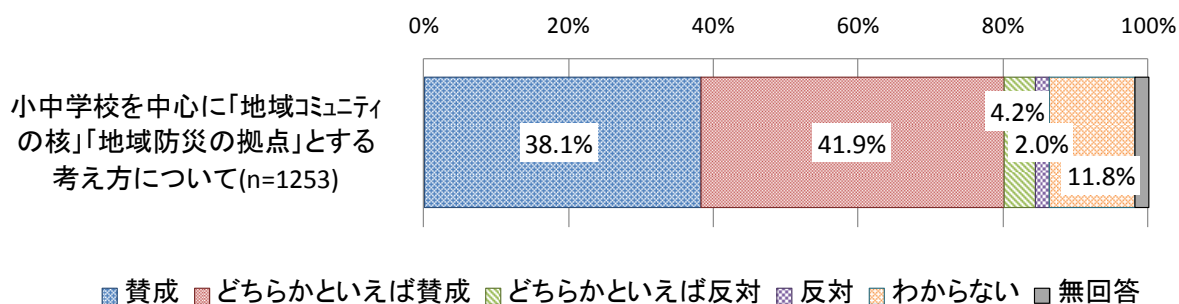


(6) 学校を中心とした施設の複合化について

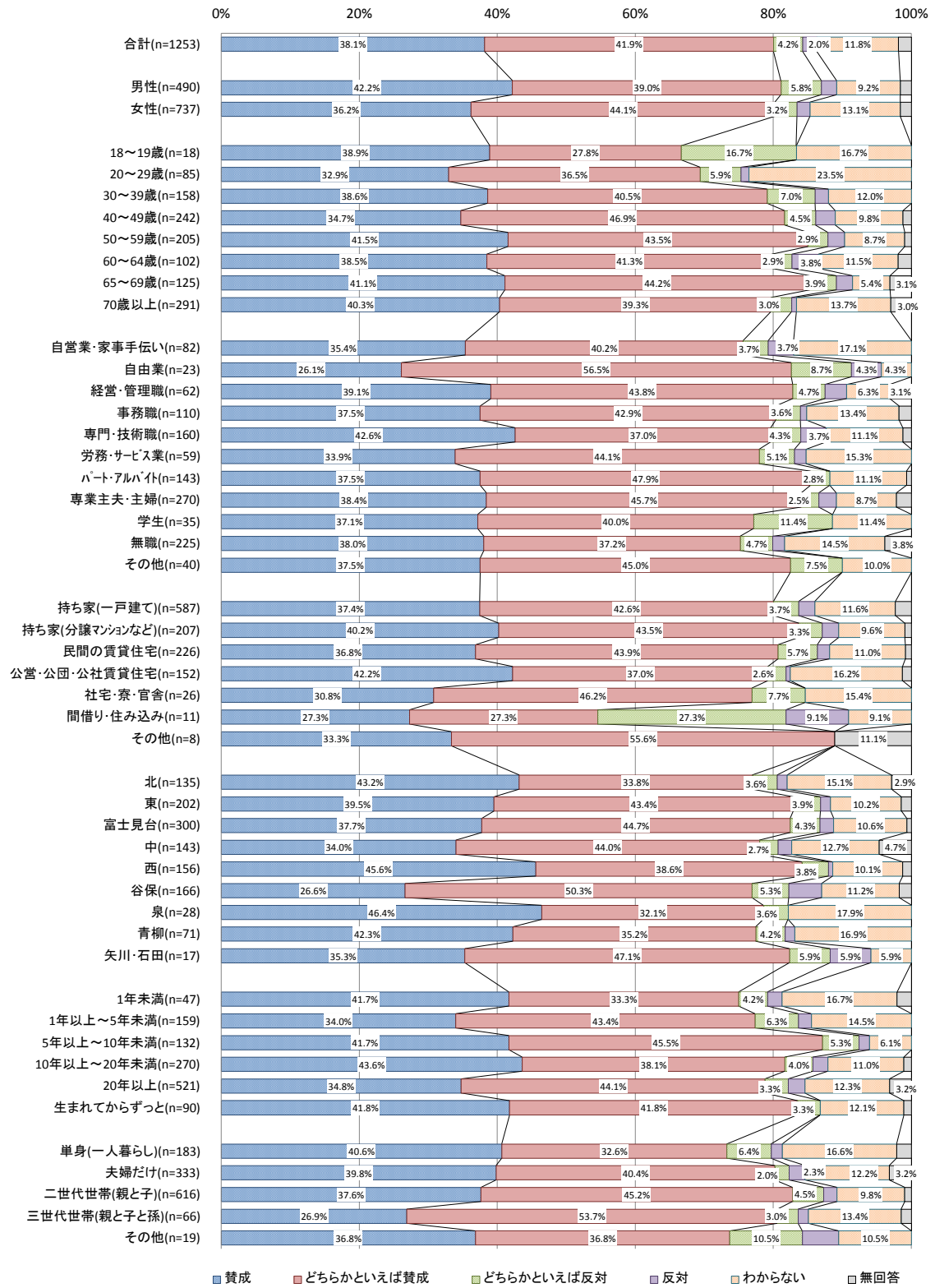
【問 3-6】 小中学校の統廃合や学校施設の活用を進めるにあたって、小中学校を中心として、地域集会所、高齢者福祉施設や保育所などを複合化し、「地域コミュニティの核」や「地域防災の拠点」とする考え方があります。この考え方について、どう思いますか。
(○は1つ)

- ・ 「学校を中心とした施設の複合化」について、「賛成 (38.1%)」と「どちらかといえば賛成 (41.9%)」を合わせると、約8割の市民が賛成の意向を示している。
- ・ これは、「(5) 学校施設の統廃合」における賛成の割合よりも大きく、学校の統廃合などを検討する際には、「地域コミュニティの核」や「地域防災の拠点」など、地域の拠点としての機能を高める視点が重要になるといえる。
- ・ 年齢別にみると、「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合わせると、「65～69歳」で85.3%と最も高く、次いで「50～59歳」が高く、中高年齢層で比較的高い傾向がうかがえる。

図表 24 小中学校を中心に「地域コミュニティの核」「地域防災の拠点」とする考え方について



図表 25 小中学校を中心に「地域コミュニティの核」「地域防災の拠点」とする考え方について（クロス集計）

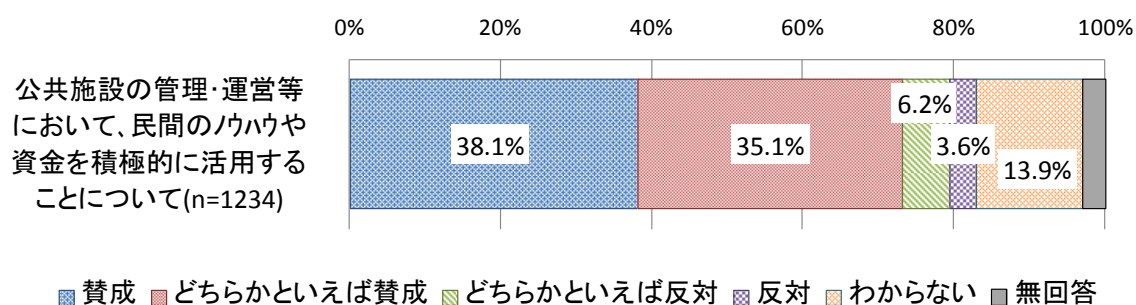


(7) 民間のノウハウや資金の活用について

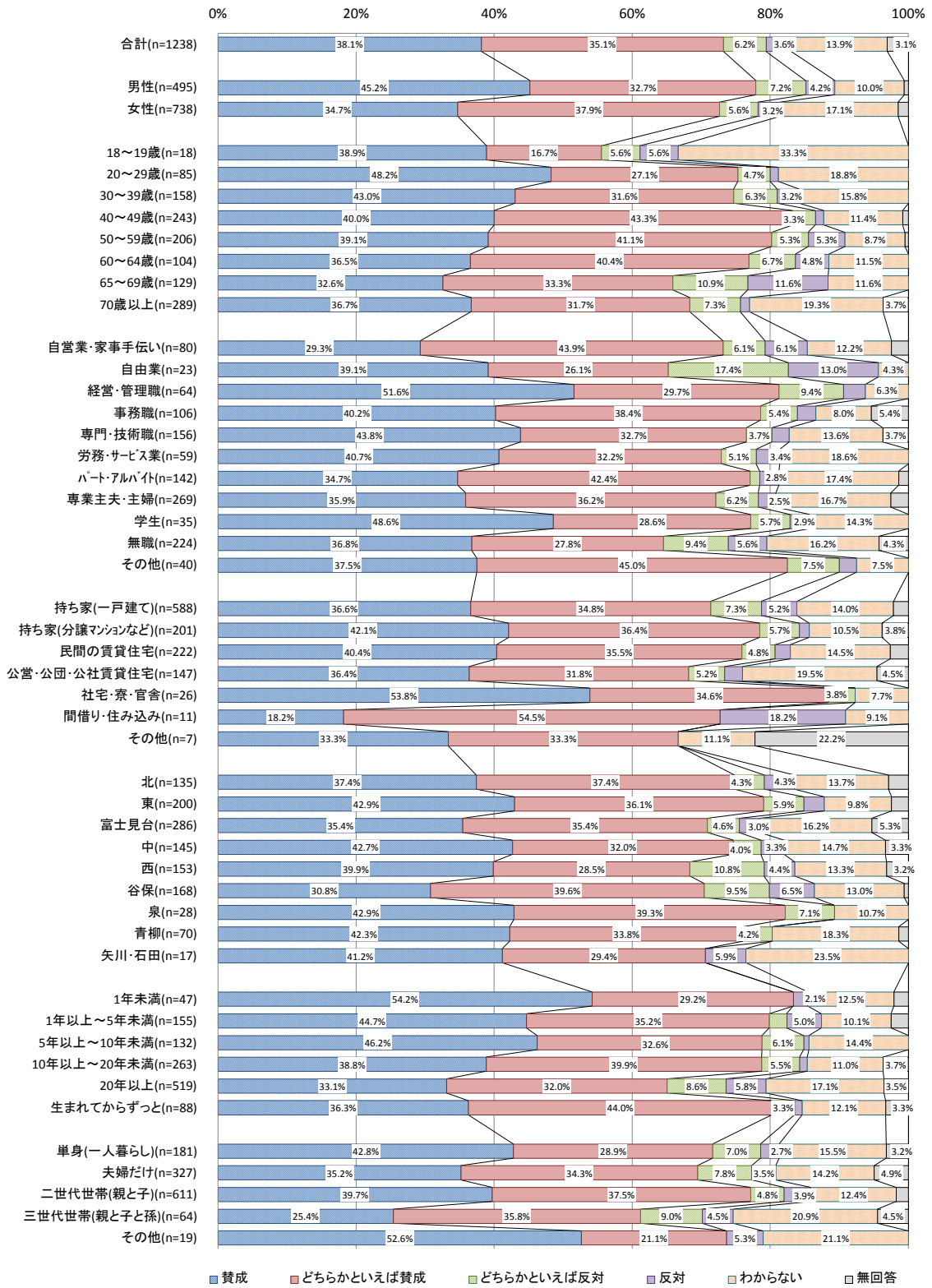
【問 3-7】 公共施設の管理・運営や改修・建替えにおいて、民間のノウハウや資金を積極的に活用することで市民サービスの向上と経費の削減を図ることについて、どう思いますか。(〇は1つ)

- ・ 「民間のノウハウや資金の活用」について、「賛成 (38.1%)」と「どちらかといえば賛成 (35.1%)」を合わせると、7割強の市民が賛意を示している。
- ・ 年齢別にみると、「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合わせると、「40～49歳」で83.3%と最も高く、次いで「50～59歳」が全体と比較して高くなっている。一方、「反対」と「どちらかといえば反対」を合わせると、「65～69歳」で22.5%であり、全体と比較して高くなっている。

図表 26 公共施設の管理・運営等において、
民間のノウハウや資金を積極的に活用することについて



図表 27 民間のノウハウや資金を積極的に活用することについて (クロス集計)

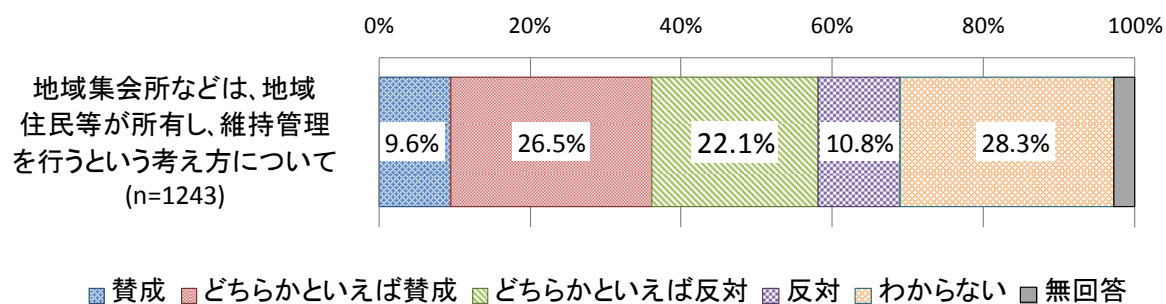


(8) 施設の地域への譲渡について

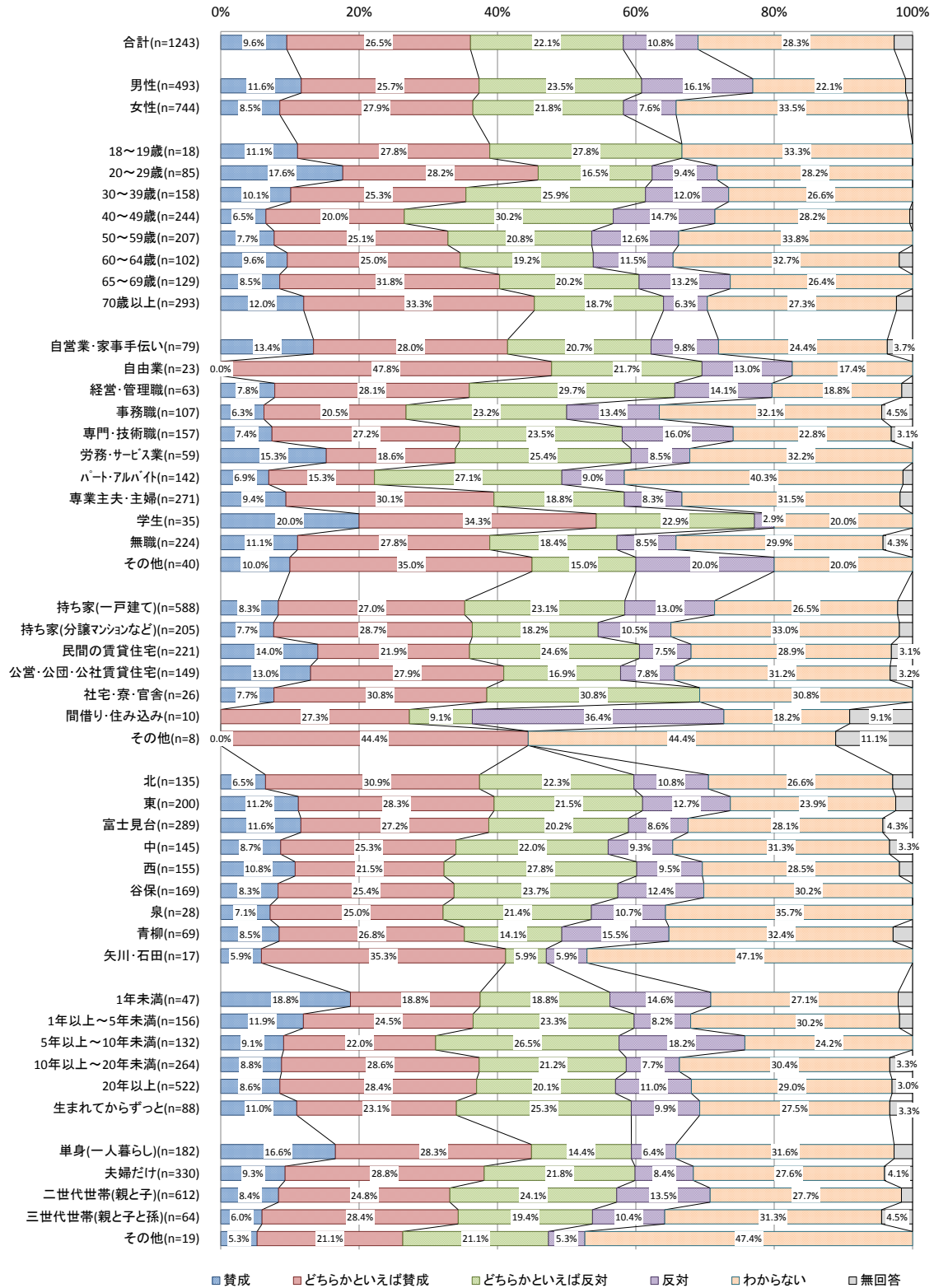
【問 3-8】 地域集会所などの地域活動に密着した施設は、地域住民等が所有し、維持管理を行うという考え方について、どう思いますか。(○は1つ)

- ・ 「施設の地域への譲渡」について、「賛成 (9.6%)」と「どちらかといえば賛成 (26.5%)」を合わせると、4割弱の市民が賛意を示している。
- ・ 一方、「反対 (10.8%)」と「どちらかといえば反対 (22.1%)」を合わせると3割強となり、反対の回答も比較的多い。また、「わからない (28.3%)」という回答も多く、多くの市民が「意見を決めかねている」あるいは「具体的なイメージが持てない」状況であることがうかがえる。市民の間で意見が分かれるテーマであるともいえ、施設の地域への譲渡を検討する際には、十分な情報共有や話し合いを行うことが求められる。
- ・ 年齢別にみると、若年層と高齢層で賛成の割合が高く、中高年齢層で反対の割合が高い傾向がみられる。

図表 28 地域集会所などは、地域住民等が所有し、維持管理を行うという考え方について



図表 29 地域集会場等は、地域住民等が所有し、維持管理を行うという考え方について
(クロス集計)

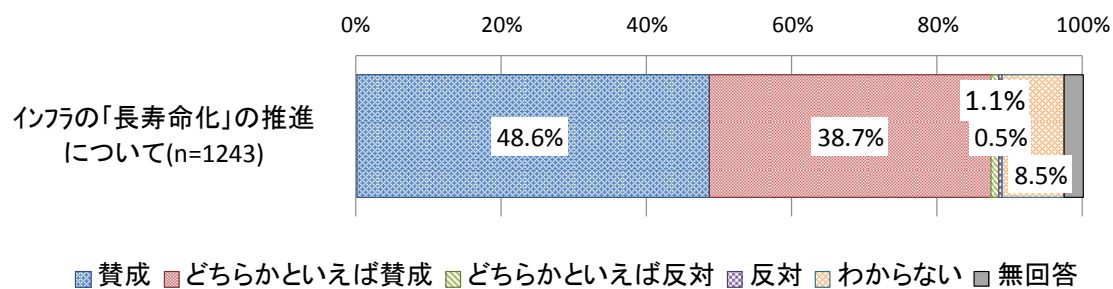


(9) インフラの「長寿命化」の推進について

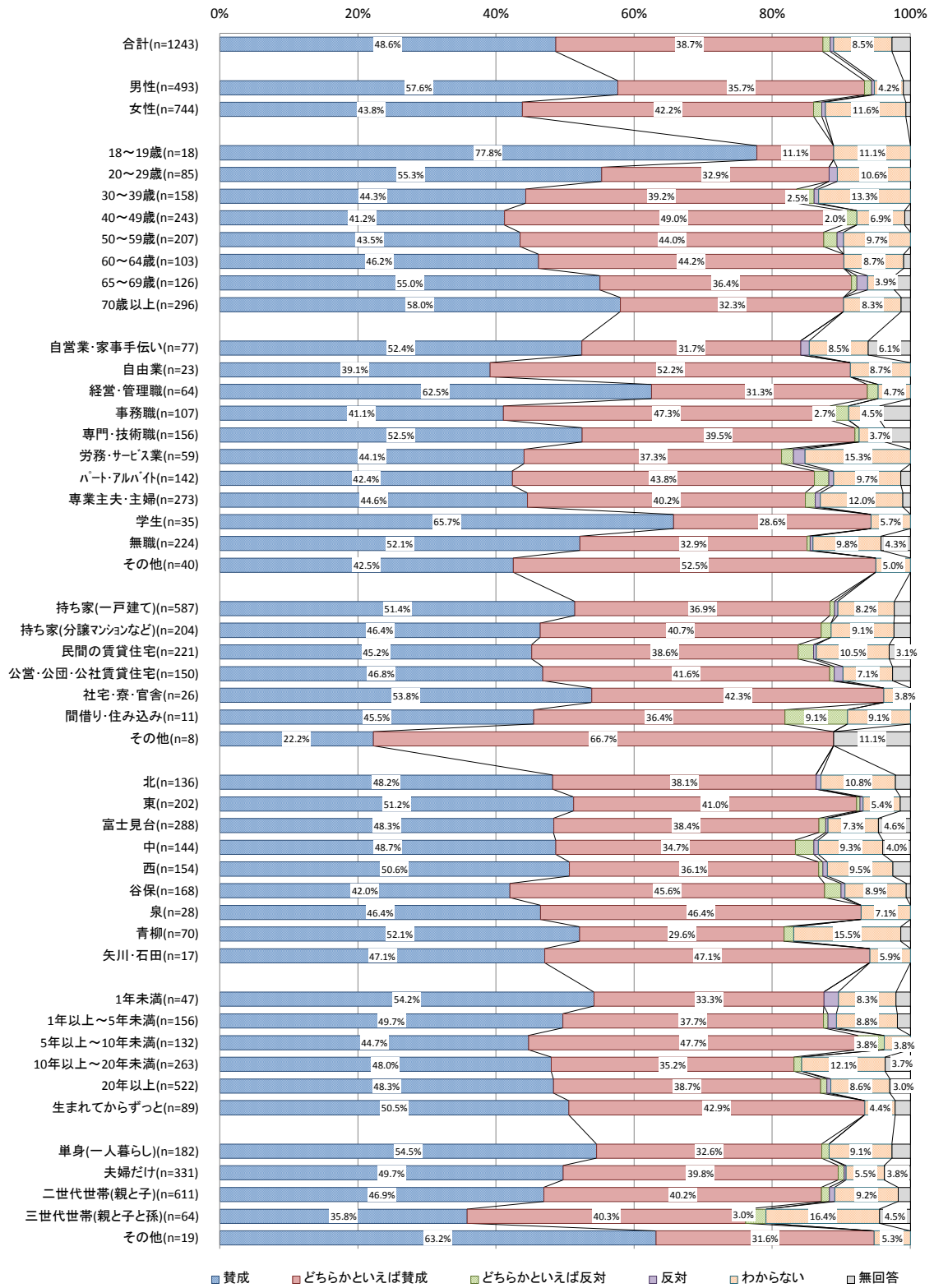
【問 3-9】 道路や橋りょう、上下水道、公園などのインフラについて、定期的な点検や修繕を行うことによって、施設を長期にわたって利用する「長寿命化」の推進について、どう思いますか。(〇は1つ)

- ・ 「インフラの長寿命化の推進」について、「賛成 (48.6%)」と「どちらかといえば賛成 (38.7%)」を合わせると、9割弱の市民が賛意を示している。
- ・ 反対の意向を示す市民はほとんどいないが、「わからない (8.5%)」と回答する市民が1割弱を占めることに注意を要する。

図表 30 インフラの「長寿命化」の推進について



図表 31 インフラの「長寿命化」の推進について (クロス集計)

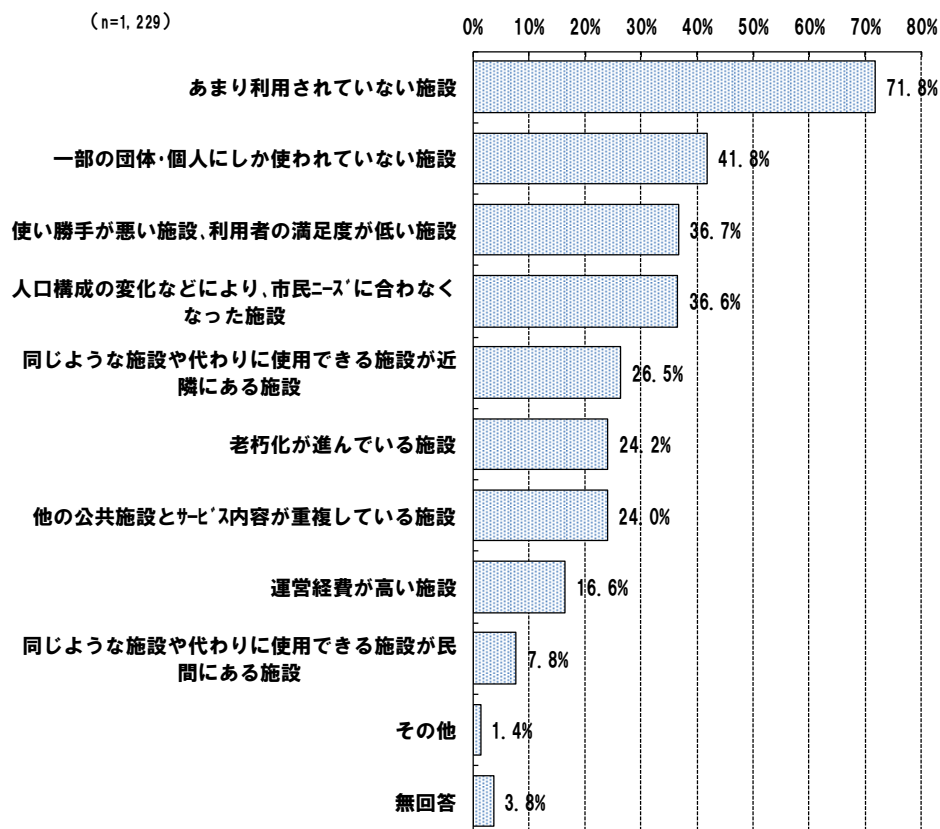


(10) 公共施設を減らしていく場合の検討対象について

【問 3-10】 公共施設にかかる経費を削減するために、公共施設の数減らしていかねばならなくなった場合、どのような施設から検討していけばよいと思いますか。検討してもよいと思うものをすべて選んでください。(MA)

- ・ 「公共施設を減らしていく場合の検討対象」の考え方については、「あまり利用されていない施設」の割合が突出して高く、7割を超える市民が回答している。
- ・ 次に、「一部の団体・個人にしか使われていない施設 (41.8%)」、「使い勝手が悪い施設、利用者の満足度が低い施設 (36.7%)」、「人口構成の変化などにより、市民ニーズに合わなくなった施設 (36.6%)」などの回答割合が高い。
- ・ 年齢別にみると、「20～29 歳」「30～39 歳」「60～64 歳」で「使い勝手が悪い施設、利用者の満足度が低い施設」、「40～49 歳」「50～59 歳」で「あまり利用されていない施設」、「65～69 歳」で「人口構成の変化などにより、市民ニーズに合わなくなった施設」、「70 歳以上」で「老朽化が進んでいる施設」「一部の団体・個人にしか使われていない施設」が全体と比較して高くなっている。

図表 32 公共施設の数減らす必要がある場合、検討をしてもよいと思うもの



	合計	老朽化が進んでいる施設	あまり利用されていない施設	一部の団体・個人にしか使われていない施設	他の公共施設とサービス内容が重複している施設	同じような施設や代わりに使用できる施設が近隣にある施設	同じような施設や代わりに使用できる施設が間にある施設	運営経費が高い施設	使い勝手が悪い施設、利用者の満足度が低い施設	人口構成の変化などにより、市民ニーズに合わない施設	その他	無回答	
性別	合計	309 24.2%	917 71.8%	534 41.8%	307 24.0%	338 26.5%	100 7.8%	212 16.6%	469 36.6%	468 36.6%	18 1.4%	48 3.8%	
	男性	498 11.4%	353 27.9%	240 18.8%	125 9.8%	129 10.0%	48 3.7%	84 6.5%	175 13.7%	183 14.3%	6 0.5%	8 0.6%	
年齢	女性	749 25.9%	559 43.6%	293 23.1%	181 14.2%	208 16.2%	52 4.0%	128 10.0%	292 22.8%	285 22.4%	12 0.9%	15 1.1%	
	18～19歳	7 0.2%	13 1.0%	1 0.1%	5 0.4%	8 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	3 0.2%	6 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	
	20～29歳	19 0.6%	64 5.0%	20 1.6%	19 1.5%	23 1.8%	7 0.5%	7 0.5%	13 1.0%	37 2.9%	31 2.4%	1 0.1%	
	30～39歳	28 0.9%	109 8.4%	61 4.8%	43 3.3%	48 3.7%	14 1.1%	20 1.5%	72 5.6%	63 4.9%	0 0.0%	0 0.0%	
	40～49歳	48 1.5%	194 15.0%	105 8.2%	71 5.5%	68 5.2%	22 1.7%	39 3.0%	96 7.4%	88 6.8%	2 0.2%	0 0.0%	
	50～59歳	47 1.5%	160 12.3%	94 7.3%	43 3.3%	53 4.1%	17 1.3%	32 2.5%	61 4.7%	79 6.1%	4 0.3%	2 0.2%	
	60～64歳	29 0.9%	73 5.6%	39 3.0%	26 2.0%	29 2.2%	6 0.5%	13 1.0%	47 3.6%	32 2.5%	1 0.1%	3 0.2%	
	65～69歳	33 1.1%	87 6.7%	65 5.0%	28 2.2%	31 2.4%	14 1.1%	27 2.1%	41 3.1%	55 4.2%	2 0.2%	2 0.2%	
	70歳以上	97 3.1%	211 16.3%	148 11.5%	71 5.5%	76 5.8%	20 1.5%	65 5.0%	105 8.0%	114 8.8%	8 0.6%	16 1.2%	
	職業	自営業・家事手伝い	19 0.6%	57 4.4%	35 2.7%	16 1.2%	22 1.7%	7 0.5%	17 1.3%	31 2.4%	27 2.1%	1 0.1%	4 0.3%
自由業		3 0.1%	12 0.9%	9 0.7%	6 0.5%	4 0.3%	2 0.2%	2 0.2%	12 0.9%	10 0.8%	1 0.1%	0 0.0%	
経営・管理職		13 0.4%	48 3.7%	34 2.6%	15 1.1%	14 1.1%	10 0.8%	8 0.6%	23 1.8%	25 1.9%	1 0.1%	1 0.1%	
事務職		25 0.8%	76 5.8%	38 2.9%	32 2.4%	39 3.0%	7 0.5%	17 1.3%	41 3.1%	48 3.7%	1 0.1%	5 0.4%	
専門・技術職		27 0.9%	122 9.3%	71 5.5%	47 3.6%	36 2.8%	21 1.6%	18 1.4%	61 4.7%	48 3.7%	1 0.1%	6 0.5%	
労務・サービス業		20 0.7%	43 3.3%	28 2.2%	14 1.1%	13 1.0%	4 0.3%	7 0.5%	22 1.7%	24 1.8%	0 0.0%	0 0.0%	
ハート・アパイト		34 1.1%	116 8.9%	62 4.8%	35 2.7%	42 3.2%	3 0.2%	25 1.9%	54 4.1%	55 4.2%	1 0.1%	2 0.2%	
専業主夫・主婦		78 2.5%	210 16.2%	117 9.1%	62 4.8%	79 6.1%	19 1.4%	47 3.6%	100 7.7%	106 8.1%	5 0.4%	6 0.5%	
学生		6 0.2%	22 1.7%	4 0.3%	10 0.8%	12 0.9%	5 0.4%	7 0.5%	7 0.5%	13 1.0%	15 1.1%	0 0.0%	0 0.0%
無職		66 2.1%	154 11.7%	101 7.8%	50 3.8%	55 4.2%	14 1.1%	46 3.5%	75 5.8%	83 6.4%	7 0.5%	17 1.3%	
住居	その他	9 0.3%	29 2.2%	17 1.3%	11 0.8%	11 0.8%	5 0.4%	5 0.4%	21 1.6%	14 1.1%	0 0.0%	1 0.1%	
	持ち家(一戸建て)	139 4.5%	444 33.9%	266 20.6%	131 10.1%	160 12.3%	50 3.8%	100 7.7%	223 17.1%	233 18.0%	9 0.7%	21 1.6%	
	持ち家(分譲マンションなど)	52 1.7%	155 11.9%	86 6.6%	51 3.9%	64 4.9%	18 1.4%	33 2.5%	66 5.0%	80 6.1%	1 0.1%	5 0.4%	
	民間の賃貸住宅	54 1.7%	149 11.4%	84 6.5%	64 4.9%	64 4.9%	17 1.3%	30 2.3%	99 7.5%	78 6.0%	3 0.2%	7 0.5%	
	公営・団・公社賃貸住宅	43 1.4%	108 8.2%	67 5.1%	35 2.7%	29 2.2%	11 0.8%	31 2.4%	51 3.9%	55 4.2%	5 0.4%	9 0.7%	
	社宅・官舎	7 0.2%	21 1.6%	8 0.6%	9 0.7%	6 0.5%	1 0.1%	6 0.5%	11 0.8%	7 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	
	間借り・住み込み	4 0.1%	7 0.5%	6 0.5%	4 0.3%	4 0.3%	4 0.3%	2 0.2%	3 0.2%	2 0.2%	0 0.0%	0 0.0%	
	その他	9 0.3%	7 0.5%	3 0.2%	3 0.2%	3 0.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.2%	3 0.2%	0 0.0%	1 0.1%

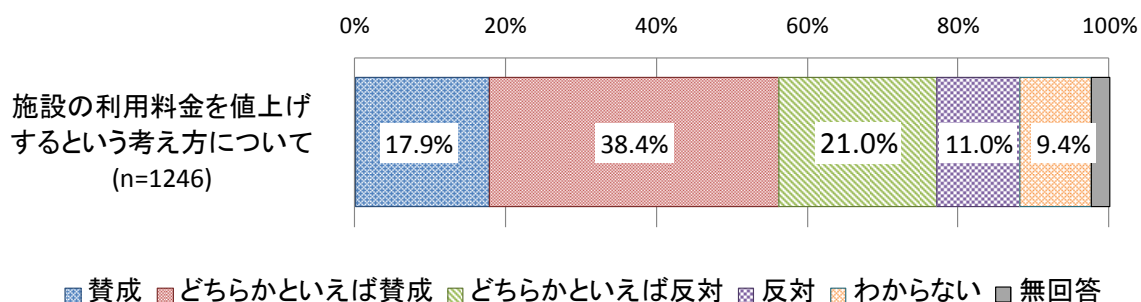
	合計	老朽化が進んでいる施設	あまり利用されていない施設	一部の団体・個人にしか使われていない施設	他の公共施設とサービス内容が重複している施設	同じような施設や代わりに使用できる施設が近隣にある施設	同じような施設や代わりに使用できる施設がある間に	運営経費が高い施設	使い勝手が悪い施設、利用者の満足度が低い施設	人口構成の変化などにより、市民ニーズに合わなくなった施設	その他	無回答	
居住地区	北	139 100.0%	32 23.0%	93 66.9%	58 41.7%	30 21.6%	43 30.9%	29 20.9%	50 36.0%	48 34.5%	1 0.7%	6 4.3%	
	東	205 100.0%	59 28.8%	155 75.6%	86 42.0%	63 30.7%	52 25.4%	28 13.7%	68 33.2%	72 35.1%	2 1.0%	4 2.0%	
	富士見台	302 100.0%	68 22.5%	207 68.5%	139 46.0%	69 22.8%	77 25.5%	23 7.6%	54 17.9%	105 34.8%	115 38.1%	6 2.0%	18 6.0%
	中	150 100.0%	31 20.7%	111 74.0%	64 42.7%	36 24.0%	40 26.7%	12 8.0%	23 15.3%	59 39.3%	61 40.7%	1 0.7%	6 4.0%
	西	158 100.0%	49 31.0%	110 69.6%	59 37.3%	37 23.4%	38 24.1%	14 8.9%	26 16.5%	58 36.7%	51 32.3%	3 1.9%	7 4.4%
	谷保	169 100.0%	30 17.8%	124 73.4%	72 42.6%	43 25.4%	49 29.0%	15 8.9%	24 14.2%	65 38.5%	67 39.6%	2 1.2%	3 1.8%
	泉	28 100.0%	8 28.6%	22 78.6%	11 39.3%	6 21.4%	7 25.0%	1 3.6%	5 17.9%	11 39.3%	18 64.3%	1 3.6%	0 0.0%
	青柳	71 100.0%	20 28.2%	57 80.3%	26 36.6%	12 16.9%	16 22.5%	3 4.2%	11 15.5%	30 42.3%	21 29.6%	2 2.8%	1 1.4%
	矢川・石田	17 100.0%	4 23.5%	11 64.7%	5 29.4%	2 11.8%	7 41.2%	0 0.0%	3 17.6%	10 58.8%	6 35.3%	0 0.0%	0 0.0%
	1年未満	48 100.0%	10 20.8%	38 79.2%	15 31.3%	14 29.2%	10 20.8%	6 12.5%	6 12.5%	17 35.4%	16 33.3%	1 2.1%	1 2.1%
	1年以上～5年未満	159 100.0%	40 25.2%	105 66.0%	69 43.4%	47 29.6%	40 25.2%	10 6.3%	20 12.6%	68 42.8%	57 35.8%	1 0.6%	3 1.9%
	5年以上～10年未満	132 100.0%	28 21.2%	100 75.8%	52 39.4%	38 28.8%	39 29.5%	7 5.3%	16 12.1%	57 43.2%	51 38.6%	3 2.3%	0 0.0%
	10年以上～20年未満	273 100.0%	69 25.3%	210 76.9%	104 38.1%	61 22.3%	89 32.6%	26 9.5%	53 19.4%	101 37.0%	87 31.9%	0 0.0%	10 3.7%
20年以上	538 100.0%	131 24.3%	376 69.9%	238 44.2%	112 20.8%	127 23.6%	44 8.2%	94 17.5%	183 34.0%	216 40.1%	12 2.2%	28 5.2%	
居住年数	生まれてからずっと	91 100.0%	24 26.4%	63 69.2%	41 45.1%	26 28.6%	24 26.4%	6 6.6%	14 33.0%	32 35.2%	1 1.1%	3 3.3%	
	単身(一人暮らし)	187 100.0%	48 25.7%	122 65.2%	75 40.1%	54 28.9%	48 25.7%	12 6.4%	32 17.1%	70 37.4%	2 1.1%	11 5.9%	
	夫婦だけ	344 100.0%	87 25.3%	232 67.4%	152 44.2%	86 25.0%	84 24.4%	35 10.2%	53 15.4%	128 37.2%	117 34.0%	9 2.6%	18 5.2%
	二世代世帯(親と子)	622 100.0%	139 22.3%	475 76.4%	261 42.0%	139 22.3%	175 28.1%	47 7.6%	100 16.1%	231 37.1%	238 38.3%	7 1.1%	11 1.8%
	三世代世帯(親と子と孫)	67 100.0%	18 26.9%	51 76.1%	24 35.8%	12 17.9%	15 22.4%	3 4.5%	11 16.4%	26 38.8%	27 40.3%	0 0.0%	5 7.5%
	その他	19 100.0%	10 52.6%	12 63.2%	6 31.6%	6 31.6%	6 31.6%	2 10.5%	6 31.6%	8 42.1%	7 36.8%	0 0.0%	0 0.0%
	家族構成												
	その他												

(11) 施設の利用料金の値上げについて

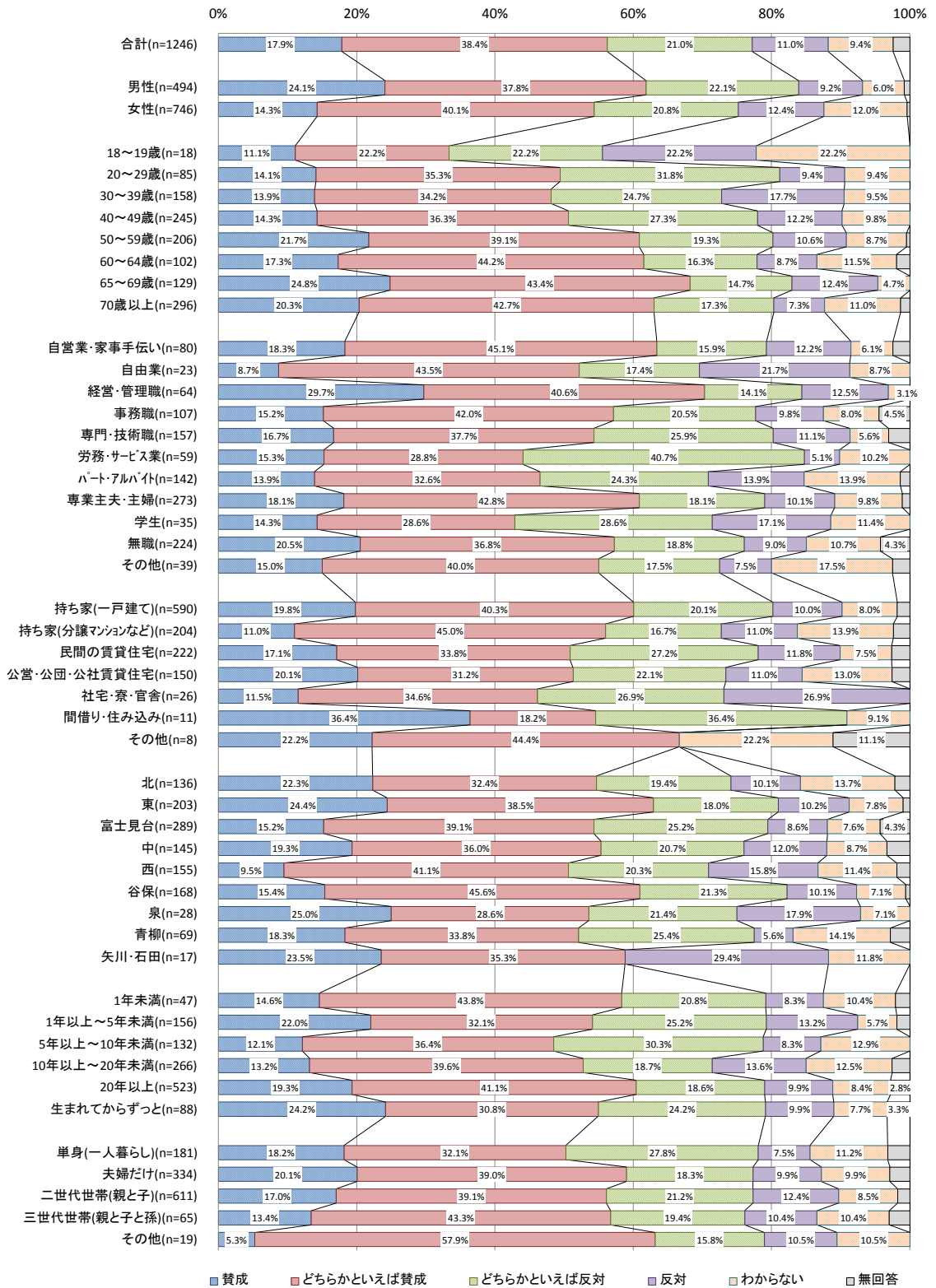
【問 3-11】 今後の人口減少を踏まえ、今ある公共施設を維持するお金を確保するために、施設の利用料金を値上げするという考え方について、どう思いますか。(○は1つ)

- ・ 「施設の利用料金の値上げ」について、「賛成 (17.9%)」と「どちらかといえば賛成 (38.4%)」をあわせると、6割弱の市民が賛成の意向を示している。一方、「反対 (11.0%)」と「どちらかといえば反対 (21.0%)」を合わせると3割強となり、反対の意向を示す市民も比較的多い。
- ・ 年齢別にみると、「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合わせると、「65～69歳」で68.2%と最も高く、次いで「60～64歳」「70歳以上」が全体と比較して高くなっている。一方、「反対」と「どちらかといえば反対」を合わせると、「30～39歳」で42.4%と最も高く、次いで「20～29歳」「40～49歳」が全体と比較して高くなっており、高齢層で賛成の意向が比較的高く、若年層で反対の意向が比較的高い傾向がうかがえる。

図表 33 施設の利用料金を値上げするという考え方について



図表 34 施設の利用料金を値上げするという考え方について(クロス集計)

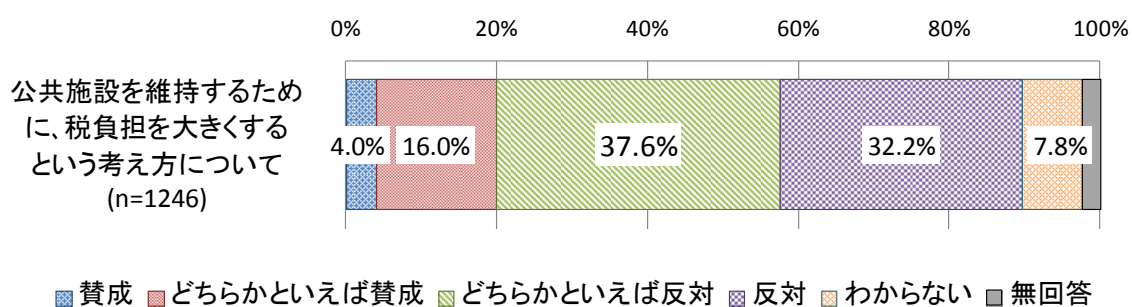


(12) 公共施設維持のための税負担の増加について

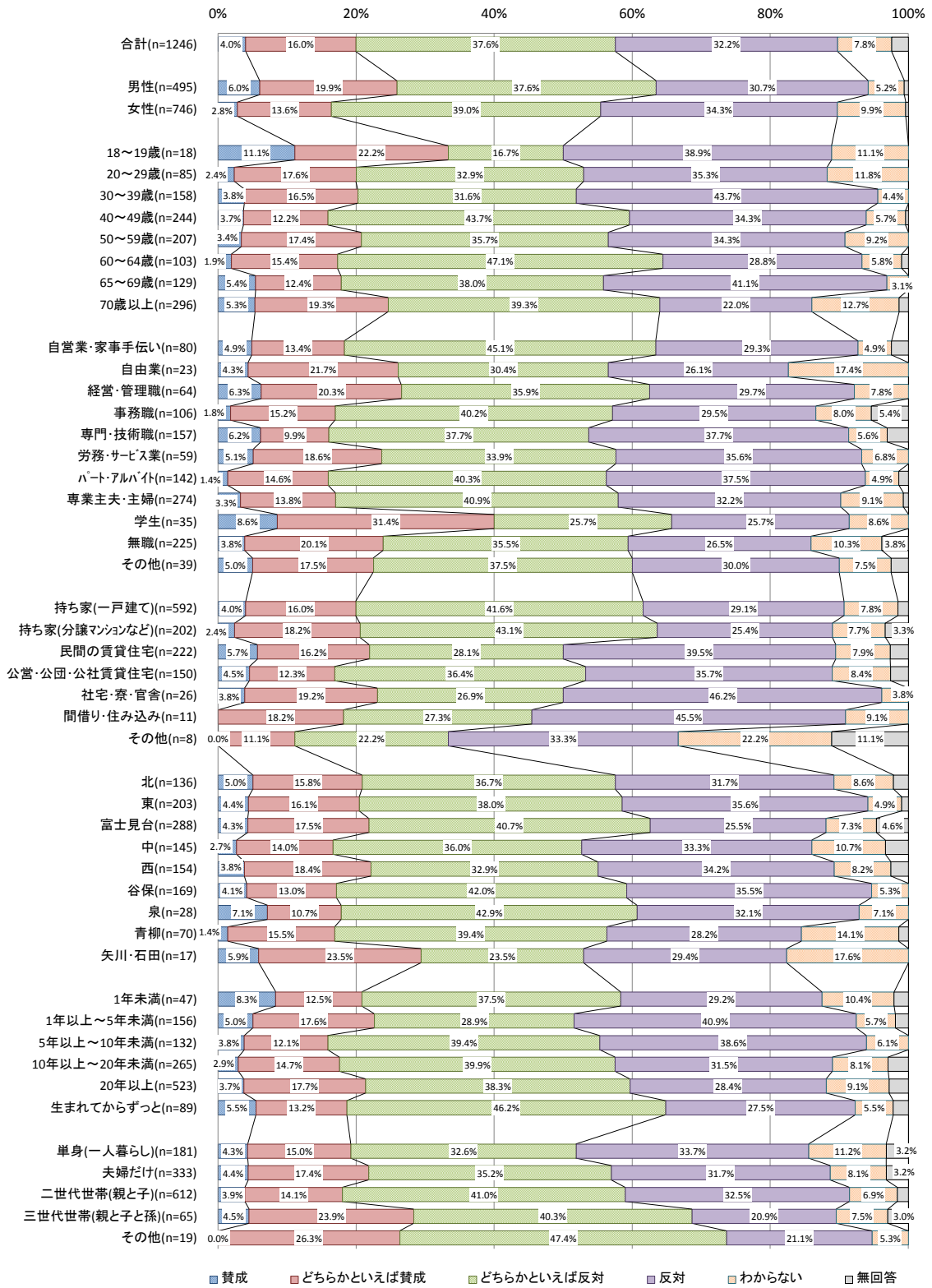
【問 3-12】 今後の人口減少を踏まえ、今ある公共施設を維持するお金を確保するために、税負担を大きくし、市民全体で負担するという考え方について、どう思いますか。(○は1つ)

- ・ 「公共施設維持のための税負担の増加」について、「反対 (32.2%)」と「どちらかといえば反対 (37.6%)」を合わせると、約7割の市民が反対の意向を示している。
- ・ 「(11) 施設の利用料金の値上げについて」では、賛成の意向が6割弱、反対の意向が約3割であったことから、施設の維持管理のための負担については、税金で負担することに対してより反対意見が多い状況であるといえる。
- ・ 年齢別にみると、「反対」と「どちらかといえば反対」を合わせると、「65～69 歳」で79.6%と最も高く、次いで「30～39 歳」「40～49 歳」「60～64 歳」が全体と比較して高くなっている。

図表 35 公共施設を維持するために、税負担を大きくするという考え方について



図表 36 公共施設を維持するために、税負担を大きくするという考え方について(クロス集計)

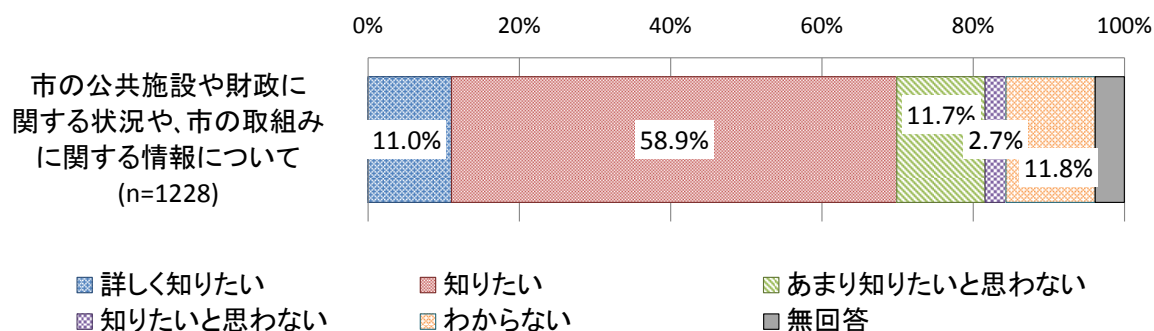


(13) 公共施設に対する情報提供について

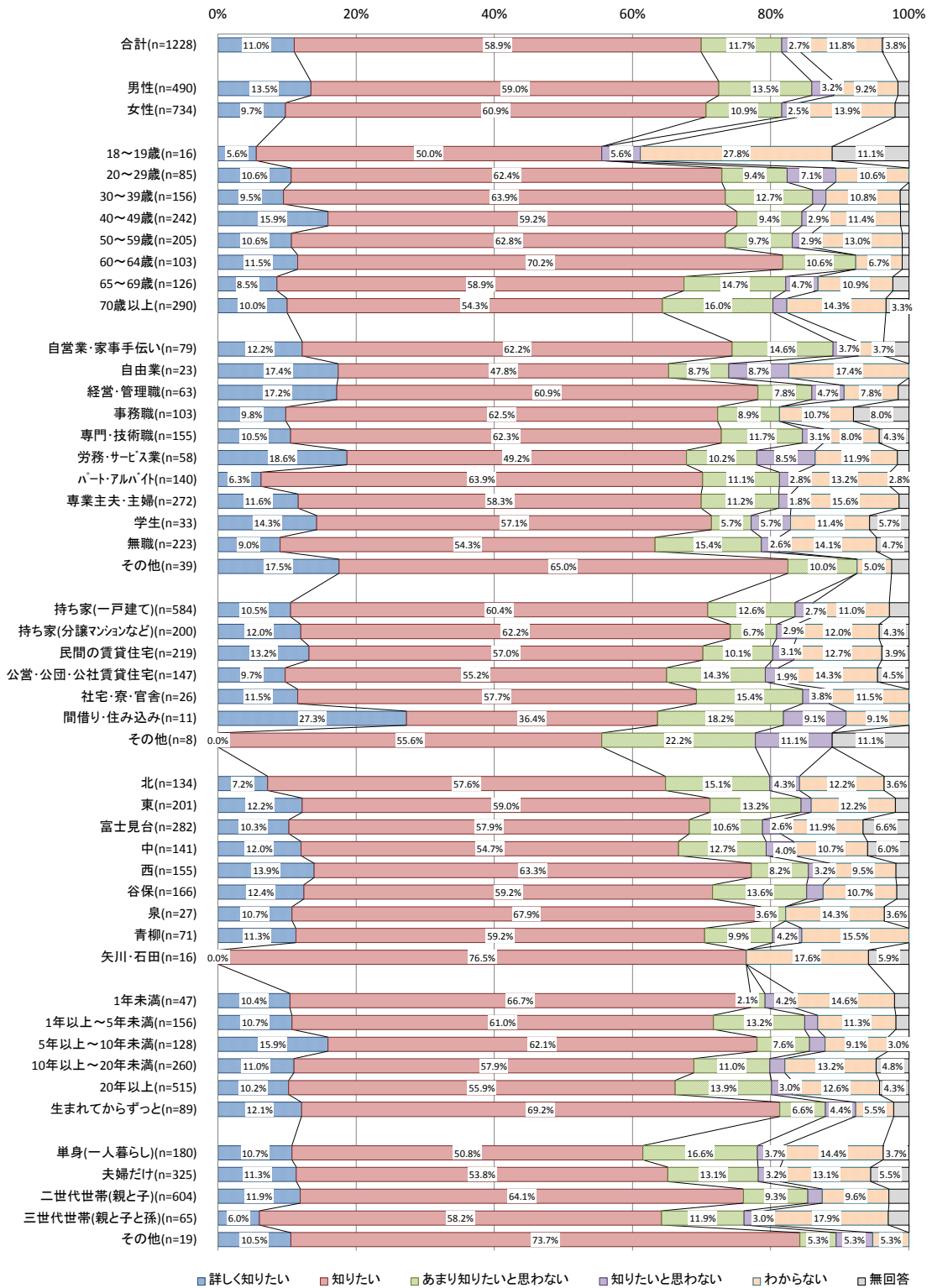
【問 3-13】 あなたは、市の公共施設や財政に関する状況についての情報や、市の取組みに関する情報について、もっと知りたいと思いますか。(〇は1つ)

- ・ 「公共施設に対する情報提供」については、「詳しく知りたい (11.0%)」と「知りたい (58.9%)」を合わせると、約7割の市民が「もっと知りたい」と思っている状況であるといえる。
- ・ 年齢別にみると、「詳しく知りたい」と「知りたい」を合わせると、「60～64 歳」で 81.7% と最も高く、次いで「40～49 歳」が全体と比較して高くなっている。一方、「知りたいと思わない」と「あまり知りたいと思わない」を合わせると、「65～69 歳」で 19.4% が全体と比較して高くなっている。

図表 37 市の公共施設や財政に関する状況や、市の取組みに関する情報について



図表 38 市の公共施設や財政に関する状況や、市の取組みに関する情報について(クロス集計)

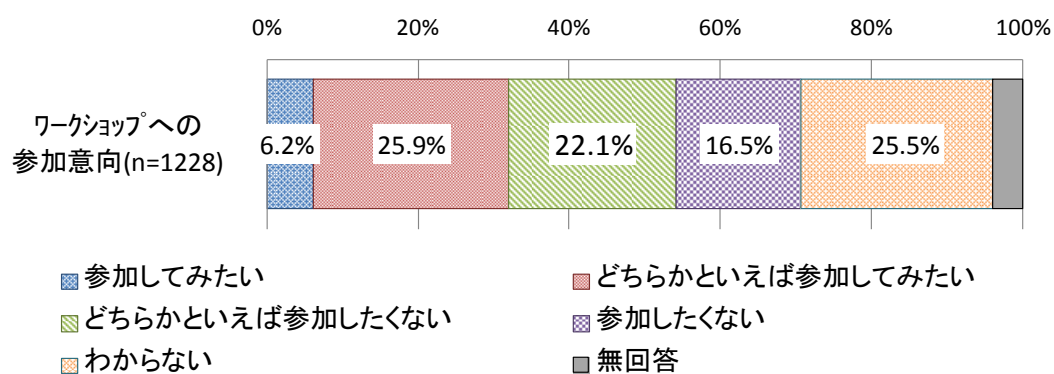


(14) ワークショップ等への参加意向について

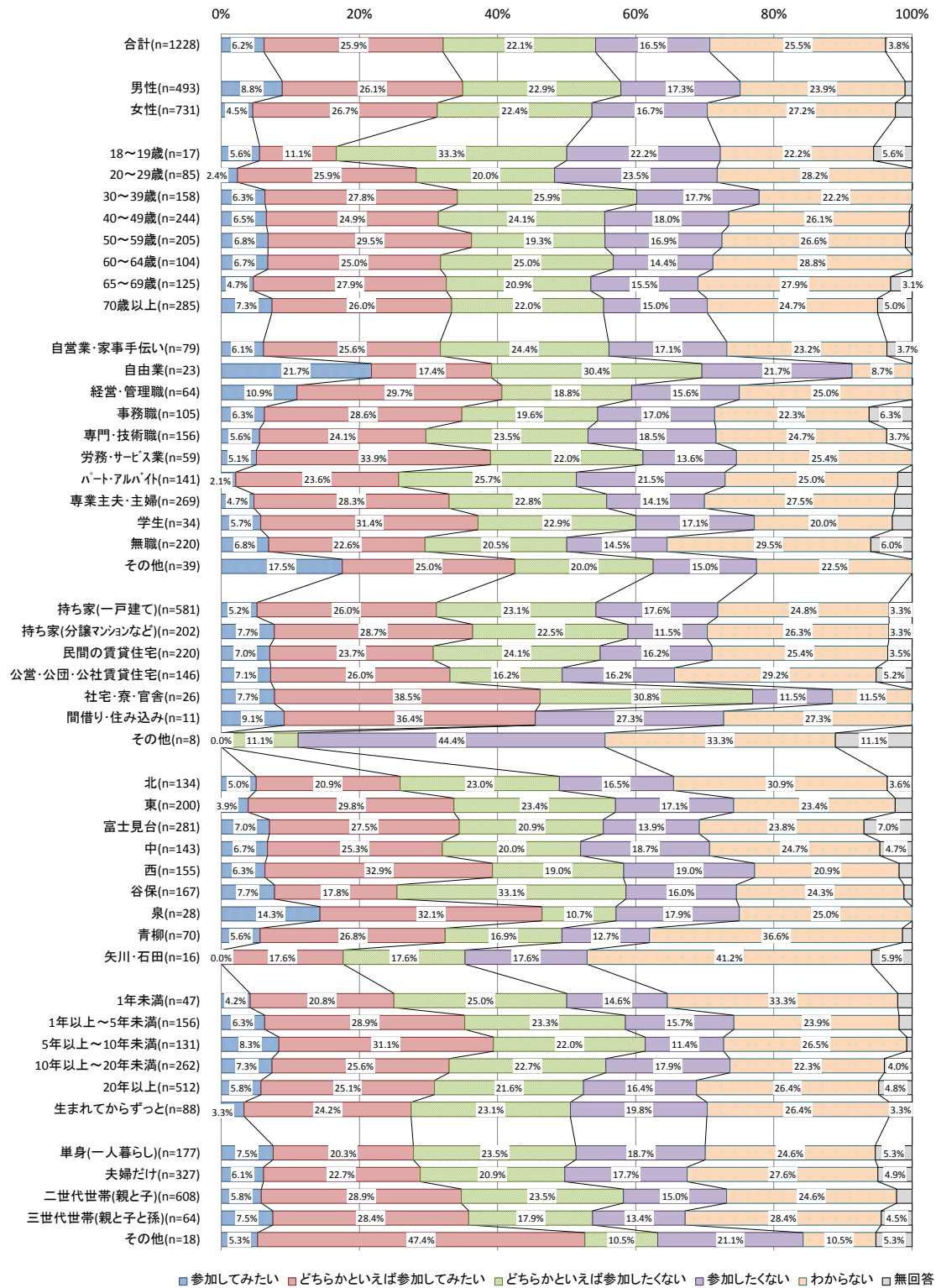
【問 3-14】 国立市の公共施設を、これまで以上に使いたくなる施設にしていくための話し合い（ワークショップ）を行うことになった場合、参加したいと思いますか。（○は1つ）

- ・ 「公共施設に関するワークショップ等への参加意向」について、「参加してみたい（6.2%）」と「どちらかといえば参加してみたい（25.9%）」を合わせると、3割強の市民が参加意向を示している。
- ・ 「(13) 公共施設に対する情報提供について」では、約7割の市民が「もっと知りたい」と回答していたことから、そのうちの約半分の市民は、さらに進んで話し合い（ワークショップ）にも参加してみたいと考えているといえる。

図表 39 ワークショップ等への参加意向



図表 40 ワークショップ等への参加意向（クロス集計）



3. 自由回答(主な意見を一部抜粋)

① 公共施設の総量削減について

- 公共施設の老朽化と公共施設を減らす問題は 10 年、20 年後の将来を考える事であり、人口の減少という現実の問題と未来の市政への展望を考え、次世代に継承していく必要があると思います。
- 人口減少・少子高齢化は全国レベルで考えると残念ながら進行しますが、街のレベルで考えるとそうならない市・まちづくりをする必要があります。そこに住む人の安全、安心、住みよい街づくりを考えた中で必要な施設は残し、統合して考えていくことが大事だと思います。
- 老朽化やあまり利用されていない施設は、廃止や統合を進めるべきです。
- 自分が利用する施設が近くにあるのはとてもありがたいので、統廃合によりその施設が無くなってしまうのは残念です。ただ、安全面の観点から老朽化で危険があるのであれば仕方ないと思います。
- 近隣の市と共有できる施設があれば連携して管理・運用していく方法もあるかと思います。
- 老朽化対策を先送りせず、可能な部分から着手すべき。
- ニーズは「数」ではなく、必要としている人の「深刻度」で考え、施設の建て替え問題に取り組んで頂きたいと思います。

／等

② 施設の複合化について

- 老朽化した施設は危険であれば取り壊し、既存の施設との複合化を考える必要があると思います。新規に施設を作り、負債を将来の子に任せるのは反対です。
- 国立市は面積が他市に比べ狭く、コミュニティバスも通っているので、施設の統廃合は進めやすいと思います。ただ市内に 1 つしかない施設の中には今後も市の象徴的財産になるものもあるので、慎重に考えてほしい。
- 複合施設として建て替えるのは、合理的だと思います。ただ、教育や福祉について質を落としてほしくない。少子化ではあるが魅力的な教育サービス、子育てしやすい市には子育て世代が集まると思う。そういったことに積極的に投資してもらいたい。
- 医療や福祉等、高齢者の利用する施設と、学校等の子供が利用する施設を複合化させることで、利用効率が上がり、かつ世代間のコミュニケーションを促進する仕組みにできれば良いと思います。
- 使用されていない施設をもっと有効に小学生の学習教室、子供に保育に使用してはどうか。
- 公共施設の複合化に関して、駅や大学通り近辺のアクセスのよい場所に建てること

で、利用者の増加が見込めると思う。民間とタイアップしてもよいので、利便性を重視してほしい。

／等

③ 学校施設の統廃合・複合化の検討について

- 子ども達が使う施設、小・中学校を最優先に改修・更新していただきたい。
- 子供の教育に関連する公共施設は今まで以上に充実を図ってほしい。
- 複合化に関する基本的な方針には賛同致します。一方、学校については卒業生などの思い入れもあり、また通学に必要な時間などを考慮すると、できれば統合はしないで頂きたいと思います。
- 小中学校の敷地内もしくは隣接した地域に保育所や高齢者施設をつくるのは賛成です。保育所は特にこれから働きながら子育てしたい人にとっては大切な場だと思います。
- 学校施設の更新時に他の施設を入れるについて、セキュリティは確保できるのでしょうか。
- 学校の老朽化には不安を感じます。統廃合された場合に小学校低学年でも遠距離通学になる子供たちがでてくることを考えると、高齢者の方たちに登下校時のフォローをお願いするとか、親たちが協力し合うことで、カバーしていくしかないのではないのでしょうか。ハードは適量、ソフトは充実を望みます。

／等

④ 民間活力のノウハウや資金の活用について

- 民間への管理委託等、今までのやり方にとらわれない改革が必要だと思う。
- 民間企業やNPOの参画を求め、より効果的な施設にしてほしい。
- 民営化は営利に流れやすく、公共の概念とは真逆のものだと思います。“老朽化”等を理由に公共施設を民営化しないでほしい。

／等

⑤ 施設の地域への譲渡について

- ある程度の維持管理を地域の自治会などに委託すべきだと思います。
- 地域住民が所有という考え方ではなく、施設はあくまで市民全体のものではないでしょうか。

／等

⑥ 公共施設維持のための行政サービス削減について

- 様々な人々との話し合いなどを通じて、できるだけ行政サービスは維持する方向で考えてほしい。
- これからの人口減少に伴う収収減を踏まえ、とにかくコスト（新規施設の建設費・既存施設の維持管理費）を下げるのが重要だと思います。

／等

⑦ 施設の費用負担について

- 無料はとても有難いことですが、もう少し受益者負担を考えても良いと思います。
- 無駄をちゃんと省いた上で、利用料金値上げや税負担を大きくするのは仕方ないと思うし、やるべきではないでしょうか。
- お金が必要だから短絡的に税負担を増やすという考えは理解出来ない。人件費、議員数等々、無駄な費用の削減から着手すべきと考えています。
- 必要な施設はメンテナンスをしっかりと維持し、無駄で不必要な施設は見直すことで経費を減らし、できるだけ税負担が増えないよう努力していただきたい。

／等

⑧ 情報提供について

- 公共施設の老朽化問題は初めて知りました。もっと情報提供の方法を工夫して欲しいです。
- 利用している人しかわからない問題をひろく知ってもらうように考えてください。
- 正直あまり知らずに過ごしてきましたので、今後関心を持って参りたいと思います。この問題の根底には一朝一夕に解決し難いこともあるかと思いますが、それらを知りやすくご提示いただける機会があれば我々市民もより身近に考えられるかと思えます。

／等

※ 原則、原文のまま掲載しているが、一部重複する意見の集約や表現の修正を行っている。

4. まとめ

(1) 施設への利用度・満足度について

本市の公共施設の利用度について、「よく利用した」と「ときどき利用した」を合わせた「利用層」の割合をみると、多くの施設で十数パーセント程度にとどまっている。少数の特定の市民を対象とした施設については別の見方が必要であるが、公共施設が必ずしも多くの市民に利用されていない実態があるといえる。

施設の利用度と、利用層における満足度を重ねてみると、「市役所」「公園」「市民芸術小ホール」などは、比較的多くの市民に利用され、かつ利用する上での満足度が高い施設といえる。

一方、「図書館」「自転車駐車場」「市民総合体育館」などは、比較的多くの市民が利用しているものの、利用者の満足度が低い施設であり、施設運営の改善等が求められる施設といえる。

また、「市民プラザ」「福祉会館」「郷土文化館・古民家」「城山さとのいえ」「子ども家庭支援センター」などは、市民の利用が限られているものの、利用する上での満足度が高い施設といえる。

「公民館」「地域集会所・公会堂」「保健センター」「地域福祉館」「学校開放」「地域防災センター」などは、市民の利用も限られており、かつ利用する上での満足度も低い施設であり、施設ニーズそのものから見直しを行うことも必要といえる。

(2) 本市の公共施設に関する取り組みについて

本市において公共施設が老朽化している状況に対して7割強の市民が問題だと考えており、また、公共施設の更新問題については約8割の市民が関心を持っている。

一方、本市がこれまで実施してきた取組み（「公共施設白書、公共施設保全計画など」）に対して、「知らない」と回答する割合は8割を超えており、本市の取組みを今後より一層周知していくことが求められる。

なお、現在、本市が定めている公共施設三原則（「①施設の総量（床面積）削減」「②施設の複合化（多機能化）」「③新規整備の抑制」）については、7割近くの市民から賛成の意向が示された。一方で、「わからない」と回答する割合も約25%に上ることから、よりわかりやすい情報提供の推進が求められる。

(3) 本市の公共施設の今後のあり方について

「(1) 公共施設の総量削減」「(3) 建替え時に施設の複合化」「(6) 学校を中心とした施設の複合化」「(9) インフラ施設の長寿命化」に対して、「賛成」または「どちらか

といえは賛成」と回答する割合が8割を超えている。

「公共施設の総量縮減」について、施設を減らす場合に検討対象とする施設については、「あまり利用されていない施設」「一部の団体・個人にしか使われていない施設」「使い勝手が悪い施設、利用者の満足度が低い施設」「人口の変化などにより市民ニーズに合わなくなった施設」と回答する割合が、それぞれ3割を超えている。

「施設の複合化」については、「(4) 身近な施設の複合化」についても「賛成」または「どちらかといえは賛成」と回答する割合は7割を超えている。いわゆる「総論賛成・各論反対」ではなく、普段利用している身近な施設においても、複合化の対象にすることについて一定の理解があることがうかがえる。

また、本市の公共施設の大半を占める学校施設については、「(5) 学校施設の統廃合の検討」に対して、6割強の市民が「賛成」または「どちらかといえは賛成」と回答している。「学校を中心とした施設の複合化」については、8割程度の市民が「賛成」または「どちらかといえは賛成」と回答していることから、今後学校の統廃合などの検討を行う際には、「地域コミュニティの核」や「地域防災の拠点」など、地域の拠点としての機能を整備する視点が重要になるといえる。

一方で、賛成の回答が比較的少ないのは、「(2) 公共施設維持のための行政サービスの削減」「(8) 施設の地域への譲渡」「(12) 施設維持のための税負担の増加」であり、賛成の割合はそれぞれ3割を下回っている。施設維持のために、他の行政サービスの削減や税負担の増加など、新たな負担が生じることにに対しては反対の意向を持つ市民が多いことがうかがえる。逆にいえば、他の行政サービスを維持したり、税負担の増加を抑制したりするために、公共施設にかけるお金を削減することを検討する必要性が示されているとみることもできる。

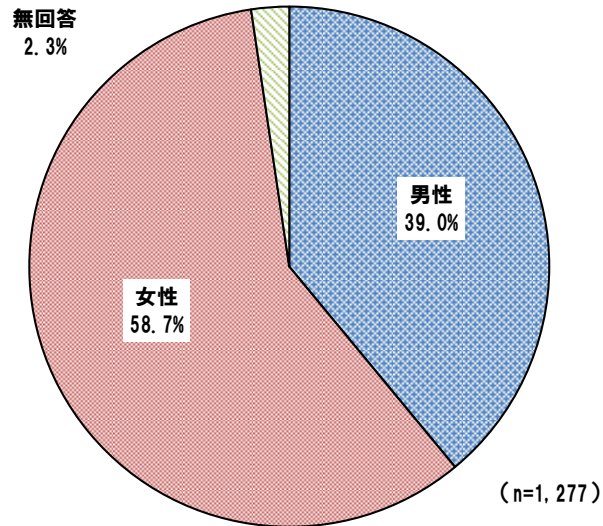
なお、「(11) 施設の利用料金の値上げ」は約5割の市民が「賛成」または「どちらかといえは賛成」と回答している。その他の施設維持更新費を縮減するための方策について、「(7) 施設の管理・運営に民間のノウハウや資金を活用」することについては、約7割の市民が「賛成」「どちらかといえは賛成」と回答している。

また、今後の本市における施設のあり方を検討する上で必要なこととして、公共施設の現状や財政に関して「詳しく知りたい」「知りたい」と回答する市民は約7割にのぼる。また、今後より魅力的な施設にしていくための話し合い（ワークショップなど）についても、3割以上の市民が「参加してみたい」「どちらかといえは参加してみたい」と回答している。公共施設マネジメントについて、市民に対してより一層の情報提供が求められるとともに、市民との対話を通して今後の施設のあり方を検討することが重要といえる。

5. 回答者の属性

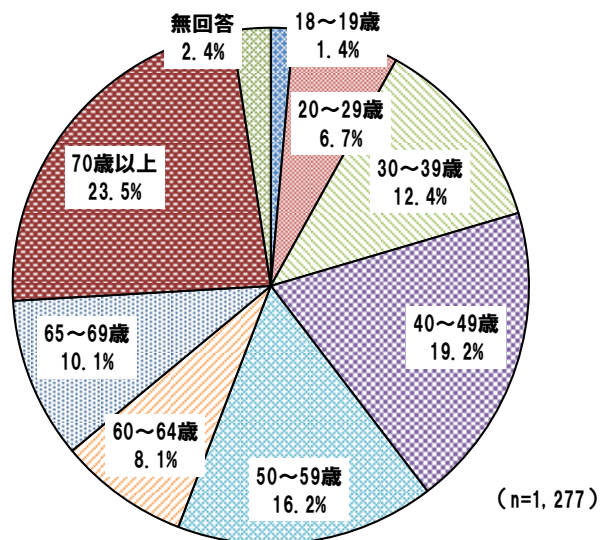
(1) 性別 (○は1つ)

図表 41 性別



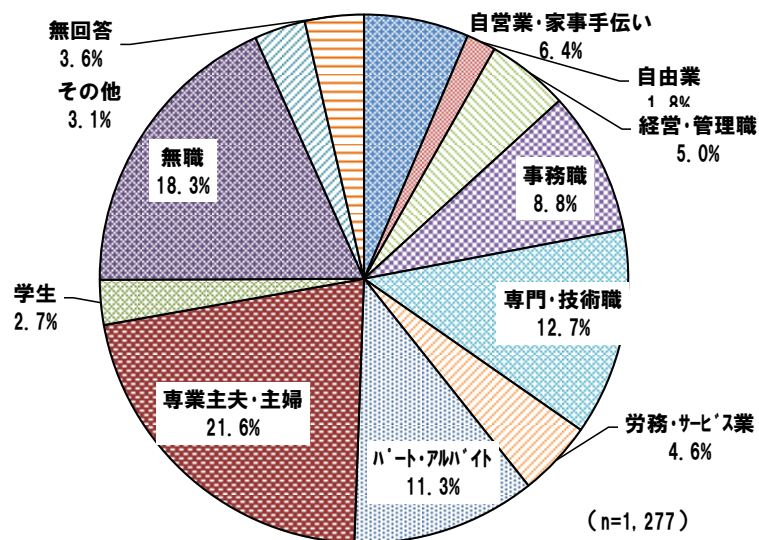
(2) 年齢 (○は1つ)

図表 412 年齢



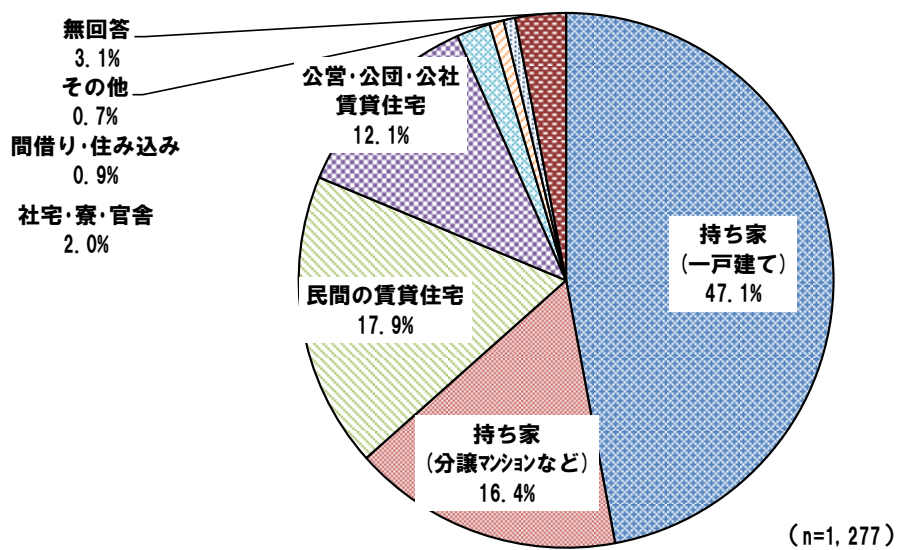
(3) 職業 (〇は1つ)

図表 43 職業



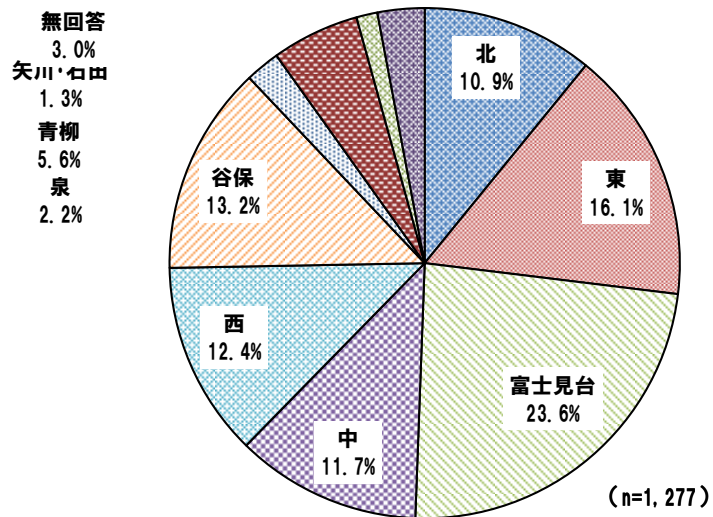
(4) 住居形態 (〇は1つ)

図表 424 住居形態



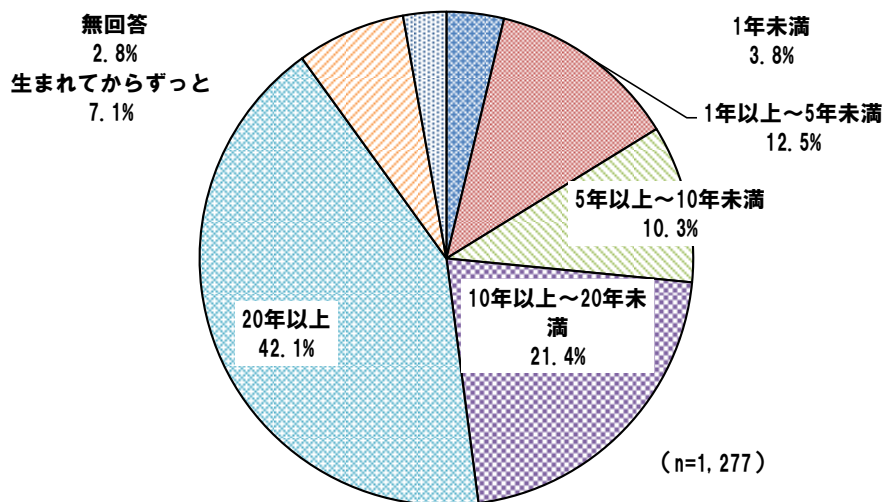
(5) 居住地域 (〇は1つ)

図表 435 居住地域



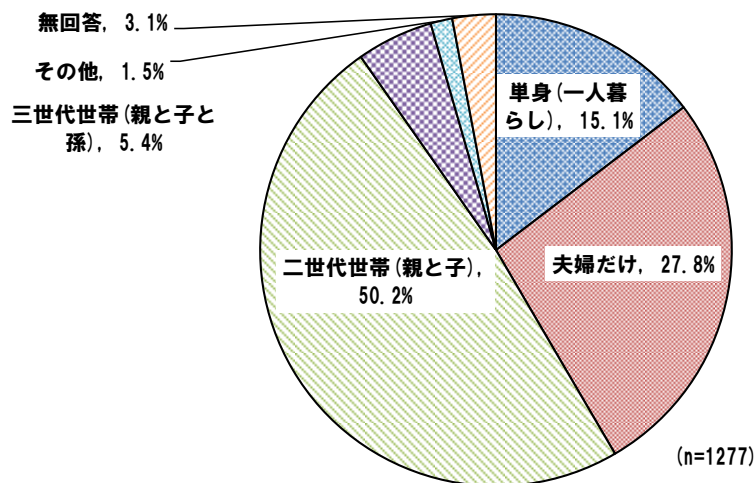
(6) 居住年数 (〇は1つ)

図表 446 居住年数



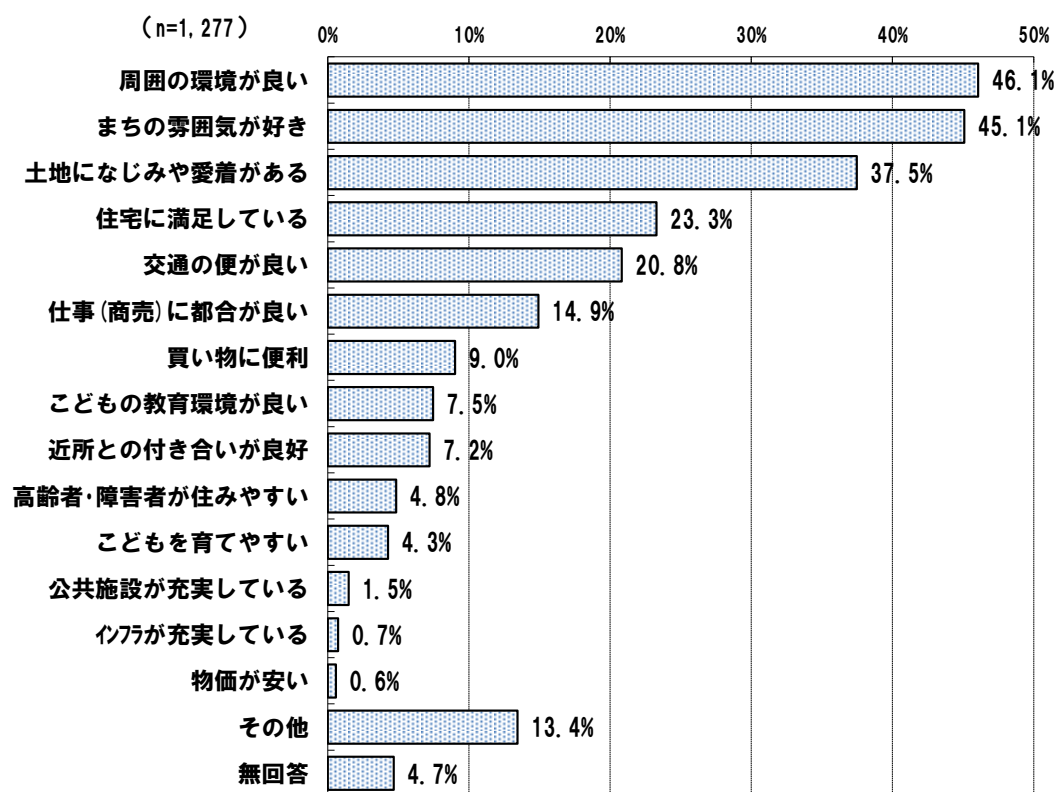
(7) 家族構成 (○は1つ)

図表 457 家族構成



(8) 国立市に住む理由 (○は1つ)

図表 468 国立市に住む理由 (問 11-3)



6. 調査票

「国立市公共施設等総合管理計画」に関する市民アンケート調査

平素より市政に関し、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、我が国では高度経済成長期以降に集中的に整備された公共施設等（建築物やインフラ施設）が老朽化し、一斉に更新時期を迎えることが地方自治体共通の深刻な課題となっています。国立市では、この問題に対し危機意識を持ち、別紙資料のとおり平成23年度より公共施設等に係る様々な調査、検討を行ってまいりました。特に昨年度は技術的見地から検証した建物の残存耐用年数を示した「国立市公共施設保全計画」を策定し、今後10年以内に建物の耐用年数を迎える学校が複数あるなど、切迫した課題があることを明らかにしました。

こうした状況を踏まえ、公共施設等の安全性を確保し、適切な公共サービスを提供していくとともに、将来にわたる財政負担の軽減、平準化の実現を目指し、持続可能な公共施設等の管理・活用を図っていくため、国の方針にも対応した「国立市公共施設等総合管理計画」の策定に向けて取り組んでいます。

つきましては、市民の皆様は、公共施設の利用状況や運営上の課題、施設機能のほか、公共施設の今後の在り方に対するご意見をお聞きし、計画策定のための参考資料として活用させていただきたく、アンケート調査を実施させていただく次第です。

ご多用の中たいへん恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年6月 国立市

＜ご記入に当たってのお願い＞

- * 本アンケートは、住民基本台帳から無作為抽出した方々にお送りしています。
- * 調査は無記名で実施しています。
- * 本アンケート調査には、宛名のご本人がお答えください。
- * 別添の参考資料『国立市の「公共施設」の現状と取組み』をご覧ください。
- * アンケート調査の回答は、当てはまる番号に○印をつけていただくものが中心です。
- * ご回答いただいた内容は全て統計的に処理され、個別のご回答内容が特定されることは一切ございません。
- * ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒にて（切手不要）、

平成28年6月27日（月）までに

ご投函くださいますようお願い申し上げます。

（住所・氏名は記入不要です。）

本アンケート調査に関するご質問等は、次の担当課までお問い合わせください。

＜お問合せ＞

国立市 政策経営部 政策経営課 資産活用担当

〒186-8501 国立市富士見台 2-47-1

電話 042-576-2111（内線 327） FAX 042-576-0264

E-mail : shisankatuyou@city.kunitachi.tokyo.jp

＜個人情報保護方針＞

- ・本アンケート調査は、「国立市個人情報保護条例」に基づいて収集した個人情報を用いて、3,000名に送付しております。
- ・当該個人情報は、本アンケートに関する書類の発送にのみ利用させていただきます。

問 1. 国立市の公共施設についておたずねします。

1-1. あなたは、過去一年間で、市の公共施設をどれくらい利用しましたか。(○は施設ごとに1つ)

施設名	よく利用した (月1回以上)	ときどき 利用した (年数回程度)	ほとんど 利用しなかった	利用しなかった
市役所	1	2	3	4
市民プラザ	1	2	3	4
地域集会所・公会堂	1	2	3	4
地域福祉館	1	2	3	4
地域防災センター	1	2	3	4
図書館 (中央図書館、図書館分館・分室)	1	2	3	4
公民館	1	2	3	4
市民芸術小ホール	1	2	3	4
郷土文化館・古民家	1	2	3	4
市民総合体育館	1	2	3	4
学校(体育館・校庭の開放利用)	1	2	3	4
保健センター	1	2	3	4
福祉会館	1	2	3	4
子ども家庭支援センター	1	2	3	4
公園	1	2	3	4
自転車駐車場	1	2	3	4
城山さとのいえ	1	2	3	4

1-2. あなたは市の公共施設について、建物の使い勝手にどれくらい満足していますか。
 (〇は施設ごとに1つ)

施設名	満 足	やや満足	やや不満	不 満	わからない
市役所	1	2	3	4	5
市民プラザ	1	2	3	4	5
地域集会所・公会堂	1	2	3	4	5
地域福祉館	1	2	3	4	5
地域防災センター	1	2	3	4	5
図書館 (中央図書館、図書館分館・分室)	1	2	3	4	5
公民館	1	2	3	4	5
市民芸術小ホール	1	2	3	4	5
郷土文化館・古民家	1	2	3	4	5
市民総合体育館	1	2	3	4	5
学校 (体育館・校庭の開放利用)	1	2	3	4	5
保健センター	1	2	3	4	5
福祉会館	1	2	3	4	5
子ども家庭支援センター	1	2	3	4	5
公園	1	2	3	4	5
自転車駐車場	1	2	3	4	5
城山さとのいえ	1	2	3	4	5

問2. 国立市の公共施設に関する取組みについておたずねします。

2-1. 市の公共施設の多くは老朽化が進行しています。この現状について、どのような印象をお持ちですか。(○は1つ)

1. 深刻な問題である	2. 少し問題である	3. あまり問題ではない
4. 問題ではない	5. 関心がない	6. わからない

2-2. 過去に建設した公共施設が、今後一斉に更新（建て替え）の時期を迎えます。公共施設の更新には膨大な費用が見込まれており、全ての公共施設を更新することは難しい状況です。あなたは公共施設の更新問題について関心がありますか。(○は1つ)

1. 関心がある	2. 少し関心がある
3. あまり関心がない	4. 関心がない

2-3. 公共施設の更新問題に対する国立市の取組みをご存じですか。1から5までについて、それぞれ1つつ○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

取組み名	読んだ	知っていたが、読んでいない	知らない
1. 国立市公共施設白書(平成24年2月発行)	1	2	3
2. 国立市公共施設等のあり方に関する研究報告書(平成24年10月)	1	2	3
3. 国立市公共施設マネジメント基本方針(平成25年3月)	1	2	3
4. 低・未利用地の活用方針(平成25年11月)	1	2	3
5. 国立市公共施設保全計画(平成27年5月)	1	2	3

2-4. 公共施設三原則について、どう思いますか。(○は1つ)

1. 賛成	2. どちらかといえば賛成	3. どちらかといえば反対
4. 反対	5. わからない	

※公共施設三原則《平成25年3月・国立市》…詳しくは「参考資料」の裏面下段をご参照ください。

- ① 施設の総量（床面積）削減
- ② 施設の複合化（多機能化）
- ③ 新規整備の抑制

問3. 現在、市の公共施設の多くは老朽化が進んでおり、公共施設を維持・更新していくには多大な経費を要します。この状況に対応し、安心して安全な公共施設を引き継いでいくため、様々な視点から「公共施設の在り方」を検証し、対策を講じていく必要があると考えられます。これらを踏まえ、市の公共施設の今後の在り方についておたずねします。

3-1. 今後の人口減少を踏まえ、全ての公共施設を残すのではなく、公共施設の総量を一定程度減らし、経費を抑えていく考え方について、どう思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------|---------------|---------------|
| 1. 賛成 | 2. どちらかといえば賛成 | 3. どちらかといえば反対 |
| 4. 反対 | 5. わからない | |

3-2. 今後の人口減少を踏まえ、今ある公共施設をそのまま維持していくために、他の行政サービスを減らすという考え方について、どう思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------|---------------|---------------|
| 1. 賛成 | 2. どちらかといえば賛成 | 3. どちらかといえば反対 |
| 4. 反対 | 5. わからない | |

3-3. 公共施設を建て替えるときに、単独で建て替えるのではなく、周辺の公共施設をまとめて複合施設として建て替えることで施設規模を抑制することについて、どう思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------|---------------|---------------|
| 1. 賛成 | 2. どちらかといえば賛成 | 3. どちらかといえば反対 |
| 4. 反対 | 5. わからない | |

3-4. あなたが普段利用している施設や、あなたにとって身近な施設を、他の施設とまとめて複合施設として建て替えることについて、どう思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------|---------------|---------------|
| 1. 賛成 | 2. どちらかといえば賛成 | 3. どちらかといえば反対 |
| 4. 反対 | 5. わからない | |

3-5. 今後の少子化の進行に伴い、1学級だけの学年が増えたり、1校あたりの人数規模が小さくなるなど教育環境が大きく変化することが想定されます。そうした状況への対応として、学校の統廃合を検討することについて、どう思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------|---------------|---------------|
| 1. 賛成 | 2. どちらかといえば賛成 | 3. どちらかといえば反対 |
| 4. 反対 | 5. わからない | |

3-6. 小中学校の統廃合や学校施設の活用を進めるにあたって、小中学校を中心として、地域集会所、高齢者福祉施設や保育所などを複合化し、「地域コミュニティの核」や「地域防災の拠点」とする考え方があります。この考え方について、どう思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------|---------------|---------------|
| 1. 賛成 | 2. どちらかといえば賛成 | 3. どちらかといえば反対 |
| 4. 反対 | 5. わからない | |

3-7. 公共施設の管理・運営や改修・建替えにおいて、民間のノウハウや資金を積極的に活用することで市民サービスの向上と経費の削減を図ることについて、どう思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------|---------------|---------------|
| 1. 賛成 | 2. どちらかといえば賛成 | 3. どちらかといえば反対 |
| 4. 反対 | 5. わからない | |

3-8. 地域集会所などの地域活動に密着した施設は、地域住民等が所有し、維持管理を行うという考え方について、どう思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------|---------------|---------------|
| 1. 賛成 | 2. どちらかといえば賛成 | 3. どちらかといえば反対 |
| 4. 反対 | 5. わからない | |

3-9. 道路や橋りょう、上下水道、公園などのインフラについて、定期的な点検や修繕を行うことによって、施設を長期にわたって利用する「長寿命化」の推進について、どう思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------|---------------|---------------|
| 1. 賛成 | 2. どちらかといえば賛成 | 3. どちらかといえば反対 |
| 4. 反対 | 5. わからない | |

3-10. 公共施設にかかる経費を削減するために、公共施設の数減らしていかなければならなくなった場合、どのような施設から検討していけばよいと思いますか。検討してもよいと思うものをすべて選んでください。(○は3つまで)

- | | |
|---------------------------------|---------------------------|
| 1. 老朽化が進んでいる施設 | 2. あまり利用されていない施設 |
| 3. 一部の団体・個人にしか使われていない施設 | |
| 4. 他の公共施設とサービス内容が重複している施設 | |
| 5. 同じような施設や代わりに使用できる施設が近隣にある施設 | |
| 6. 同じような施設や代わりに使用できる施設が民間にある施設 | |
| 7. 運営経費が高い施設 | 8. 使い勝手が悪い施設、利用者の満足度が低い施設 |
| 9. 人口構成の変化などにより、市民ニーズに合わなくなった施設 | |
| 10. その他 () | |

3-11. 今後の人口減少を踏まえ、今ある公共施設を維持するお金を確保するために、施設の利用料金を値上げするという考え方について、どう思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------|---------------|---------------|
| 1. 賛成 | 2. どちらかといえば賛成 | 3. どちらかといえば反対 |
| 4. 反対 | 5. わからない | |

3-12. 今後の人口減少を踏まえ、今ある公共施設を維持するお金を確保するために、税負担を大きくし、市民全体で負担するという考え方について、どう思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------|---------------|---------------|
| 1. 賛成 | 2. どちらかといえば賛成 | 3. どちらかといえば反対 |
| 4. 反対 | 5. わからない | |

3-13. あなたは、市の公共施設や財政に関する状況についての情報や、市の取組みに関する情報について、もっと知りたいと思いますか。(○は1つ)

1. 詳しく知りたい	2. 知りたい	
3. あまり知りたいと思わない	4. 知りたいと思わない	5. わからない

3-14. 国立市の公共施設を、これまで以上に使いたくなる施設にしていくための話し合い(ワークショップ)を行うことになった場合、参加したいと思いますか。(○は1つ)

1. 参加してみたい	2. どちらかといえば参加してみたい	
3. どちらかといえば参加したくない	4. 参加したくない	5. わからない

3-15. 公共施設の老朽化問題やそれに対する市の取組みについてご意見・改善点などがあればご自由にお書きください。

--

問4. あなたご自身のことについておたずねします。

4-1. あなたの性別は。(○は1つ)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

4-2. あなたの年齢はおいくつですか。

1. 18～19歳	2. 20～29歳	3. 30～39歳
4. 40～49歳	5. 50～59歳	6. 60～64歳
7. 65～69歳	8. 70歳以上	

4-3. あなたの職業は何ですか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|-------------|-------------|
| 1. 自営業・家事手伝い | 2. 自由業 | 3. 経営・管理職 |
| 4. 事務職 | 5. 専門・技術職 | 6. 労務・サービス業 |
| 7. パート・アルバイト | 8. 専業主夫・主婦 | 9. 学生 |
| 10. 無職 | 11. その他 () | |

4-4. 現在のお住いは、次の中のどれにあたりますか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------------|--------------------|-------------|
| 1. 持ち家 (一戸建て) | 2. 持ち家 (分譲マンションなど) | 3. 民間の賃貸住宅 |
| 4. 公営・公団・公社賃貸住宅 | 5. 社宅・寮・官舎 | 6. 間借り・住み込み |
| 7. その他 () | | |

4-5. あなたのお住まいの地域は、次の中のどれにあたりますか。(○は1つ)

- | | | | | |
|-------|------|---------|----------|------|
| 1. 北 | 2. 東 | 3. 富士見台 | 4. 中 | 5. 西 |
| 6. 谷保 | 7. 泉 | 8. 青柳 | 9. 矢川・石田 | |

4-6. あなたは、国立市に何年ぐらいお住まいですか (通算でお答えください)。(○は1つ)

- | | | |
|----------------|--------------|---------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年以上～5年未満 | 3. 5年以上～10年未満 |
| 4. 10年以上～20年未満 | 5. 20年以上 | 6. 生まれてからずっと |

4-7. あなたのご家族の構成は、次の中のどれにあたりますか。(○は1つ)

- | | | |
|------------------|------------|----------------|
| 1. 単身 (一人暮らし) | 2. 夫婦だけ | 3. 二世帯世帯 (親と子) |
| 4. 三世帯世帯 (親と子と孫) | 5. その他 () | |

4-8. あなたが国立市に住む理由は、次の中のどれですか。(○は3つまで)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. 土地になじみや愛着があるから | 2. 仕事 (商売) に都合が良いから |
| 3. 住宅に満足しているから | 4. 周囲の環境が良いから |
| 5. 交通の便が良いから | 6. 買い物に便利だから |
| 7. 近所との付き合いがうまくいっているから | 8. 物価が安いから |
| 9. まちの雰囲気が好きだから | 10. こどもを育てやすいから |
| 11. こどもの教育環境が良いから | 12. 高齢者・障害者が住みやすいから |
| 13. 公共施設が充実しているから | |
| 14. インフラが充実しているから | |
| 15. その他 () | |

ご協力ありがとうございました。ご記入の終わりました調査票は、同封されている専用の返信用封筒に入れて、**6月27日(月)までにご投函**ください (切手は必要ありません)。

